

ゼビオホールディングス株式会社 XEBIO Holdings Co., Ltd

郡山本社

〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35

URL <http://www.xebio.co.jp/>

3-7-35 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024, Japan

URL <http://english.xebio.co.jp/>

東京オフィス

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14F

Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan

CORPORATE PROFILE

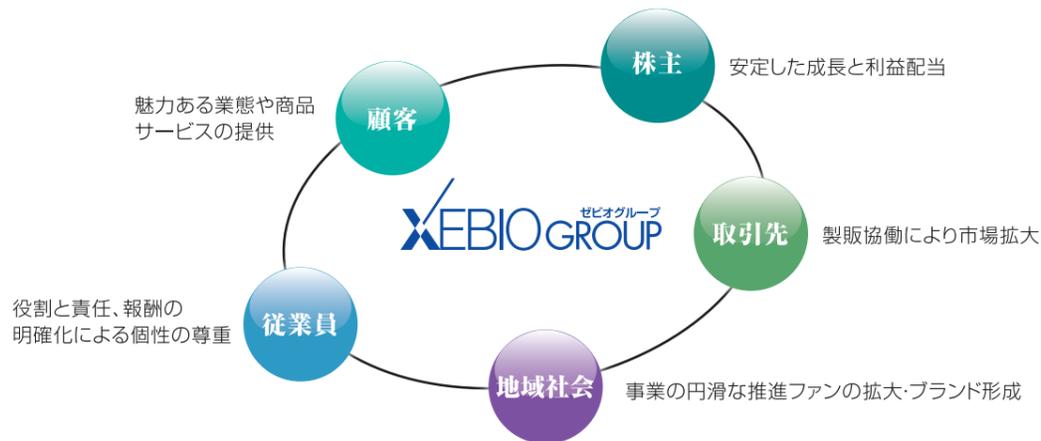
2017年3月期
For the year ended March 31, 2017

企業理念

公正な競争原理のもと、良質な人材、資金、組織を作り「お客様第一主義」にもとづいた事業活動を通じて、社会貢献を果たしていくこと

経営の基本方針

- 一、量的指標ではなく、質的指標としての数値目標を設定します
- 一、ナンバーワンではなく、オンリーワン企業として事業の質的拡大を図ります
- 一、株主様、お客様、お取引先様、従業員、地域社会それぞれにオンリーワンとして認識していただける企業を目指します



社名の由来

1. 社会への呼びかけ… **XE**CHORISTOS + **B**IOS
(個人的な) (生活)
2. 全社員のポリシー… **eX**panding & **E**nergetic **B**IOs
(拡大する) (活動的な) (生命)

私たちは、'XEBIO'のXから限りなく伸びるアンテナで時代に感応し、時代を読み、時代を創る個性集団として、次なる時代を牽引しつづけていきたいと考えます。

社名XEBIOには、二つの意味が託されています。一つは当社の社会的使命をこめ、社会に向かって発する宣言としての意味。もう一つは、それを実現するために全社員が心に抱くポリシーとしての意味です。XEBIOの語源は、すべての現代語の根幹とされるギリシア語を組み合わせて創造されたもので、分解すると上記のようになります。

CONTENTS

0 企業理念	16 ステークホルダー・コミュニケーション	28 連結財務諸表・株式情報
1 全てのステークホルダーの皆様へ	22 コーポレート・ガバナンス	30 財務ハイライト
2 グループステートメント	24 グループ主要会社概要	32 English Section Contents
4 成長戦略	25 経営体制	
6 事業概況	26 ゼビオヒストリー	
8 事業紹介	27 店舗数	

免責事項・見直しに関する注意事項

このレポートは、2017年3月期の実績及び2017年4月からのレポート発行日までの活動内容に基づき、ゼビオホールディングス株式会社及びその子会社、関連会社に関する情報を掲載しています。本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、見直しと異なる可能性があることをご留意ください。また、この内容は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。



ゼビオグループは1962年に創業し、公正な競争原理のもと、良質な人材、組織を用い「お客様第一主義」に基づいた事業活動を通じ、ステークホルダーとともに成長し社会に貢献することを経営理念としております。これは創業からスポーツに業態を変化させ、2015年のホールディングス化を経てこれからも変わらず大切に持ち続けていく、我々のDNAとして存在するものです。

国境や言語を超えたコミュニケーションだけでなく健康への寄与など、これからスポーツが担うべき役割や可能性は大きいと私たちは考えています。

スポーツの可能性や価値を最大化し、この価値をお客様との接点から創出されるVALUEPOINTとして提供し続けることがゼビオグループの存在価値だと考えております。

少子高齢化、IT技術の発達、購買や嗜好の多様化、健康への意識の高まりなど様々な環境の変化に対応すべく、私たちは2017年に中期

経営計画をスタートさせました。スポーツコングロマリット構想をさらに進化させ、新たなスポーツの価値を生み出せるプラットフォーム作りを進めてまいります。

スポーツによって世の中を明るく元気にすることを我々の使命としてとらえ、これからも皆さまに愛される企業であり続けられるよう努力してまいります。

今後も引き続き皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長
諸橋 友良

2010年、私たちは「**こころを動かすスポーツ。**」をグループステートメントとして掲げ、スポーツナビゲーションを通じて最大化したスポーツの感動価値を、お客様に提供することを約束する意志をグループ内で共有しました。

2013年、創業50周年を迎えたこの年、スポーツが持つ国境をも超えていく価値を人の心の中に確立する運動を推進するため、新たに「**スポーツの国をつくろう。**」というステートメントを掲げました。

そして2016年、課題先進国である日本が抱える様々な社会問題を、スポーツが持つ力で克服し、来たる2020年、そしてその先の未来を明るい世の中にする為、スポーツが持つ可能性を信じ進んでいく想いを「**スポーツで叶える。**」という言葉にこめました。

2020
2030

2016
スポーツで叶える。

2013
スポーツの国をつくろう。

2010
こころを動かすスポーツ。

こころを動かすスポーツ。

私たちゼビオグループは、

スポーツの魅力と可能性を最大限に引き出し、

伝え、表現し、発信し、

それらをビジネスとしての価値に変えていきます。

そしてスポーツ業界のビジネスモデルを変革し、

スポーツのビジネスとしての価値を最大化していきます。

その結果、スポーツの持続的発展に寄与し、地域社会への貢献、

そして、身近にスポーツがある健康的で充実した

豊かな人生のお手伝いをします。

ゼビオグループの宣言

- ◆ 私たちはスポーツの感動価値を最大化します。
- ◆ 私たちはスポーツ業界のビジネスモデルを変革・創造していきます。
- ◆ 私たちはスポーツによって世の中を明るく元気にしていきます。

スポーツの国をつくろう。

国内のスポーツ小売市場は約1兆7,000億円とされています。人口減少や少子高齢化によるスポーツ競技人口の減少が懸念される一方、スポーツアイテムの日常生活での使用や健康志向を背景にランニングやウォーキング、トレッキングといった手軽なスポーツがライフスタイルに根付くなど、新たな市場が生まれてきております。

さらにスポーツには、小売市場以外にもプロチーム経営や施設運営、スクール事業といった別の市場が存在するだけでなく、医療健康産業や教育産業、情報・サービス産業、ファッション産業といった隣接事業へその領域を拡げていく力を有しています。

私たちゼビオグループは、「スポーツ」を基点にして、様々な業種と協働し、「スポーツの新しい価値」を一人でも多くの方々に提案していく「スポーツコングロマリット構想」を掲げております。その一環として、地域に根差したスポーツコミュニティの需要喚起を行っております。これは、単なるスポーツイベントの開催にとどまりません。例えばスポーツに取り組んでいた人々が、「心身の健康」への意識の高まりから、スポーツが習慣となる生活への復帰をサポートしたいという、私たちの願いも込めております。

スポーツは、チームとの一体感や、努力の大切さ、勝利の喜びなど、日常ではなかなか体感することができない「感動」を教えてください。また人々とスポーツとの関わり方は様々で、スポーツを「する」だけでなく、「仲間をつくる」、「観る」、「応援する」など多岐に渡ります。私たちは、「スポーツコングロマリット構想」のもと、これまでスポーツとの接点を持つ機会がなかった方々にも、スポーツの持つ「価値」をお伝えし、様々な接点をご提供することで、人々の身近に「スポーツ」がある、健康で明るいライフスタイルを支援していきたいと考えております。

スポーツの可能性は無限であると私たちは考えております。この無限の可能性を、より多くの方々と共有し、共に追求していくことを通じて、私たちゼビオグループも成長していきたいと考えております。



スポーツで叶える。

ゼビオホールディングスの前身であるゼビオは、紳士服小売として創業し、その後時代の変化とともにカジュアル衣料、スポーツ用品へと業態を転換し、持続的な成長を遂げていく中、2002年にカジュアル衣料の「ゼビー」業態を廃止、スポーツ業態へ統合したことを機に、経営資源をスポーツ事業へ集中させていくとともに、市場を面で捉え事業の拡大に努めてまいりました。その後、スポーツ周辺事業への取り組みやM&Aを通じ、「スポーツ」を基軸に平面だけでなく立体的にもその活動領域を拡大させてまいりました。

そして2015年10月、事業環境の急速な変化への迅速・適切な対応、事業内容の絶えざる変革と拡大、及び国内外での有力企業との提携や M&A の推進といった経営戦略を、当社グループ全体の健全な成長を通じて達成する為のガバナンス体制を確立することを目的に、純粋持株会社体制へと移行いたしました。

この移行に際し、グループ各社が各々得意とする分野に特化しつつも、互いの連携を高め、相互に作用し、グループ全体が機動的且つ多面的に活動することで、これまで以上の価値を生み出し、お客様から必要とされる企業グループへと進化する、「X-cube構想」を掲げました。

「X-cube構想」のもと、小売業のみならず、異業種や各種スポーツ団体、地域と連携して、スポーツの可能性を最大限に引き出すと同時に、スポーツ業界のビジネスモデルを変革し、スポーツのビジネスとしての価値も最大化させ、その結果としてスポーツの健全で持続的な発展に貢献してまいります。

2021年の先に待ち構えている社会問題は多様化しています。

少子高齢化、子育て、年金、医療、健康年齢…。

課題先進国である我が国の企業として、私たちはスポーツによって多様化した社会問題の解決に取り組んで参ります。近年スポーツがますますあらゆる社会と直結しており、様々な課題に対し、スポーツは解決策となりうるのではないかと考えています。

スポーツに感動できる人がたくさんいる国の未来は明るい私たちは信じています。

スポーツによって世の中を明るく元気にすることが私たちの使命であり、スポーツで叶える社会を実現していきます。



ゼビオ株式会社

スポーツをトータルコーディネート

小売事業の柱となる業態で、大都市郊外やショッピングセンター内を中心に outlet している、1,000坪クラスのスケール感溢れる売場に、圧倒的な品揃えを誇る大型総合スポーツ専門店「スーパースポーツゼビオ」、エキナカ・エキチカといったハイトラフィックなエリアに outlet し、周辺環境特性に合わせたマーチャダイジングを施した200坪クラスの売場で展開する中小型スポーツ用品専門店「ゼビオスポーツエクスプレス」を展開。

近年は、スポーツ衣料にもファッションセンスが求められる傾向にあります。ゼビオでは以前から、あらゆるシーンにトータルコーディネートができるコンテンツポラリー（普遍的）なスタイルとクラシックな趣味の良さ、高い品質を誇るイギリス最大級のSPAブランドであるnext社と提携し、「next」店舗を日本国内で展開しております。また、ハイセンスな商品に触れることで得られるメリットを活かし、そのセンスをスポーツスタイルに取り込み、スポーツとカジュアルを融合させた「X'tyle」店舗を、スーパースポーツゼビオ店内でインショップ展開やコーナー展開しております。

その他、スポーツにおける目の重要性を考え、スポーツメガネ・サングラス専門店である「X'tyle vision」や、アスリートをはじめ、スポーツをする全てのお客様のコンディショニング維持向上のお手伝いを行うスポーツドラッグストア「Xiasis」など、スポーツを行う全ての方をあらゆる角度からサポートする店舗体制を敷いております。

買い物+αへの取り組み

入り口でお客様をお出迎えする、「クマ」や「ヘラジカ」。スター選手のユニフォームや往年の名プレイヤーのサインが入った用具などが展示された「スポーツの殿堂」コーナー。「スーパースポーツゼビオ」の売り場は、ご来店頂けたお客様に商品を選ぶ楽しみだけでなく、非日常的な、或いは家族とのコミュニケーションを生み出す空間や時間もご提供したいという想いをコンセプトに構成しております。

市場環境が急速に変化していく中、これまで以上にお客様に支持される店舗を模索し、様々なトライアルを展開しております。バスケットボールやフットサルなど特定スポーツの世界観を演出したオブジェやレイアウトを施したコーナー展開、ボルダリングの体験施設やお子様を動かせるプレイロットの設置、女性客をより意識した商品をラインアップした売場、ゆったりとしたスペースでお子様連れのお客様にやさしい試着室など、ご来店頂いたお客様に快適な時間と空間をご提供できる売場環境への改装も順次行っております。2016年2月には、日本初のPGA TOUR公認ゴルフショップを出店。「今すぐゴルフがやりたくなる」をコンセプトに、ショップという概念を超え、全てのゴルファーが楽しく充実した時間を過ごせる機能を有した店舗となっております。

充実したスポーツライフのために

アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できるよう、スポーツテクノロジーを駆使して最先端の機能開発に取り組むとともに、売場では、研修や勉強会で技術を習得した販売員が、ラケットスポーツ競技で成績に直結するストリングやグリップ交換、技術向上やケガ防止に役立つスノーボードのピンディングやオーダーメイドのシューズ中敷き製作などを通じて、お客様のスポーツライフをサポートしております。

少子高齢化・人口減少が進む中、スポーツを通じてお客様のニーズに対して総合的な提案を行い、また最大化したスポーツの感動価値を「バリューポイント」を通じお客様に日々提供し続けることで、本格的にスポーツに取り組む方々だけでなく、気軽にスポーツを楽しみたい、スポーツで生活を豊かにしたいと願われているお客様にも、ゼビオの魅力を伝えて頂き、ファンになって頂けるよう精進してまいります。

THE SUPER XEBIO SPORTS

XEBIO SPORTS EXPRESS

next

PGA TOUR SUPERSTORE

Xiasis

X'tyle

スポーツメガネ専門店 X'tyle vision



株式会社ヴィクトリア

ヴィクトリアカンパニー

都市型・専門性に特化

関東圏に店舗を展開するヴィクトリアは、ウィンタースポーツを中心にスポーツ用品全般を取り扱うスポーツ専門店「ヴィクトリア」、ビギナーだけでなく本格派をもうならせる魅力的なアイテムを取り揃えたゴルフ専門店「ヴィクトリアゴルフ」、アウトドアのある日常をキーワードに、お客様の趣味・嗜好の幅を広げ、快適な休日を過ごすためのサポートを行うアウトドア専門店「エルブレス」を運営しております。人口集積地であり、日本のトレンド発信地である都心立地に合わせ、市場トレンドを先取りした商品構成や立地特性に応じた一部カテゴリーに特化した店作りを行っております。

また近年、日常生活にスポーツテイストを求めるトレンドが見られ、タウンユーザー向けアイテムが好調に推移していることから、一部店舗では「スーパースポーツゼビオ」のエッセンスを取り入れた品揃えを導入し、専門性と汎用性の融合を図っております。

ネクサスカンパニー

中小規模商圏・one to oneマーケティングの担い手

北東北地方で小商圏型スポーツ専門店を展開するネクサスは、「タケダスポーツ」「ネクサス」の屋号を冠し、大商圏大型フォーマットではカバーできない、地域のお客様への利便性や専門性を提供しております。

ホールディングス化を機に加速しているグループシナジーの更なる追求の一環として、シューズやゴルフといった、他のグループ会社が得意としているカテゴリーのノウハウを吸収、或いはテリトリー変更を積極的に行うとともに、タケダスポーツ時代からの強みであった、外販事業の更なる強化に努めております。

世代を超えて愛される店舗へ

ヴィクトリア、ネクサス(旧タケダスポーツ)は両社とも、古くからその土地で愛され、地域のお客様に育てて頂いた店舗ブランドです。

各社が長い歴史の中で培ってきた素晴らしい経験とノウハウが、ゼビオグループの一員となることで新たに吹き込まれた「X-DNA」の精神と融合することで、親から子へ、子から孫へと何世代にも渡って愛され続ける店舗ブランドへと昇華できるよう、引き続き地域に根差した店舗作りに取り組んでまいります。



株式会社ゴルフパートナー

中古ゴルフ業界No.1のネットワーク

1999年、ゴルフパートナーは、中古ゴルフクラブという新しいマーケットを創造し、成長させることを使命に誕生しました。より多くのお客様に中古クラブをお届けするため、フランチャイズシステムを導入し、FCオーナー様と共に手を携えて、その買取・販売網を拡大してまいりました。FCオーナー様の店舗経営を全面的にバックアップするため、日々のスーパーバイジングに始まり、e-ラーニング、ゴルフパートナー公認クラブセッティング診断士資格制度の導入、各種研修の開催など、充実した運営サポートを展開しております。また、システムを活用し全店舗の中古クラブ在庫情報を共有することで、直営店・加盟店329店舗の在庫約55万本を随時お客様へ提供できる環境を構築いたしました。

中古ゴルフショップ、その先へ

マーケットリーダーとなった今、私たちは次のステージを目指し邁進します。高いクラブをお手頃価格で提供する「中古ゴルフショップ」から、中古・新品を問わずあらゆるニーズにお応えする「総合ゴルフショップ」へ。

近年力を入れているのが、ゴルフ練習場事業。ショップ機能に、レンジ（練習場）、スクール各機能をワンストップでご利用頂ける環境をご提供することで、お客様の利便性が向上し、各機能の相乗効果により収益性が高まることが期待されます。

ゴルフ練習場事業やゴルフスクールの開設、ゴルフ場の予約やeコマースの運営など、快適なゴルフライフ実現のための商品・サービスを提供する企業へ。私たちは、全てのゴルファーを応援する「ゴルフライフパートナー」を目指します。

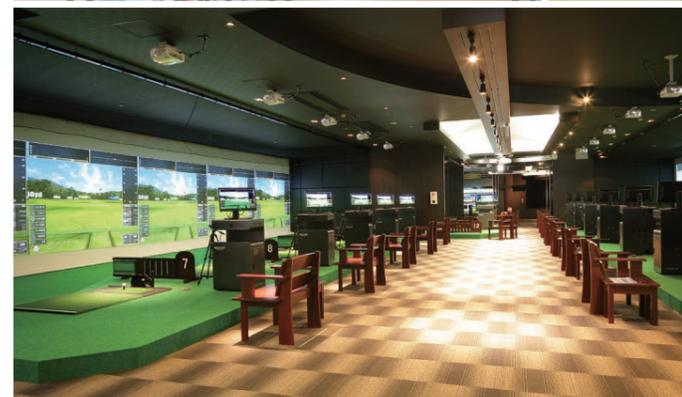
全てのゴルファーにとって唯一の存在を目指して

これまでゴルフ業界を牽引して頂いた、第一次ベビーブーム世代の方々が定年年齢を迎えるにあたり、国内のゴルフ市場の縮小が懸念されております。

そのような環境下、ゴルフの楽しさ、素晴らしさを更に多くの方に知っていただくために、皆様から買い取らせていただいたクラブを、これからゴルフを始める方に1本プレゼントする「はじめてのごるふくらぶプロジェクト」を展開し、ゴルフを始めるきっかけの一助となる施策を行っております。

また、シニア世代にいつまでもゴルフと触れ合って頂く機会を創出し、経験に裏打ちされた技の競演を間近でご観戦頂くことで、再びゴルフ熱を高めて頂くべく、観戦無料の「日本プロゴルフランド・ゴールドシニア選手権」を主催するなど、ゴルフ市場活性化への取り組みもおこなっております。

私たちは、全てのゴルファーから信頼され愛される真のパートナーでありたい。クラブ選びでお困りの方には、最適な一本を。スコアアップでお悩みの方には、的確なアドバイスを。目指すのは、ゴルファーのあらゆるニーズにお応えするオンリーワンショップ。



その他事業

プロダクトマーケティング事業

急激な環境変化に伴い、グループ全体として変革が求められております。ゼビオグループではグループ保有ブランドを用いた商品開発やブランディングなどの事業を強化しており、グループ内の店舗からあがる「お客様の声」を取り入れた商品開発やニーズに合わせた商品構成を行っております。さらにお客様にご満足いただき、愛されるものづくりをこれからも追求してまいります。

ネット事業

近年、電子商取引の分野は拡大の一途を辿っております。リアル店舗が中心のゼビオグループにおいても、この分野への取り組みは既に始めております。電子商取引とリアル店舗双方を展開することで発揮されるオムニチャネルの強みを追求することでグループ全体の利用価値を向上させ、高いお客様満足度を提供できる環境を実現してまいります。

スポーツ振興支援

ヒトとスポーツの関わり方は、「する」だけでなく「仲間をつくる」「観る」「応援する」など多岐に渡ります。ゼビオグループは、「スポーツ」を起点にして、様々な業種・業態と協働し、「スポーツの新しい価値」を一人でも多くの方に提供していく「スポーツコングロマリット構想」のもと、コア事業である「スポーツ用品小売業」の他にも、様々なアプローチを試みております。

フットサル国内リーグ「Fリーグ」では、エグゼクティブパートナーとしてリーグ活動やグラスルーツ大会の開催を支援、3人制バスケットボール「3x3」では、国際大会の誘致・開催や国内トップリーグの運営から全国各地でエンジョイ大会の開催までを展開し、競技の普及・発展に貢献しております。2017年には日本初上陸となる「スバルタンレース」の誘致・開催を実現、また、アイスホッケーアジアリーグに所属する「東北フリーブレイズ」は、クラブ経営や運営をサポートしております。

「ゼビオアリーナ仙台」は、民設共営（民間が設立し地域共同体が運営）によるスポーツエンターテインメント環境の発展向上と、多面的な取り組みを行っております。日本では珍しい演出を用い、「アリーナスポーツ」や「エンターテインメント」の魅力を最大化することがゼビオアリーナのコンセプトです。ゼビオアリーナ仙台が、幼少期の子供たちにも大きな影響を与え、将来のアスリートとなるきっかけになりたいと考えております。

これらの取り組みを通じて、私たちが標榜する「スポーツの国」の実現に向け、日本のスポーツ環境に変化をもたらし、全てのヒトが「スポーツ」で繋がり、新たなコミュニティが形成される社会の実現に向け活動してまいります。



スポーツウェアの開発から生まれた
糸から違う 吸汗速乾

DRY PLUSは、糸から速乾性を追求。単にドライコーティングを施したものとは異なり、より水分を吸収しやすい、異形断面糸を使用しています。汗が乾くなるまでさまざまな生活シーンで、ウェアが不要な水分をより吸い上げて、生地内で蒸散、外気と一緒にとろけて、すくすくと乾かします。

DRY PLUS®
SWEAT-ABSORBING | QUICK-DRYING
異形断面糸使用 吸汗速乾素材

お客様とともに

Moving forward together
with our customers



従業員とともに

Moving forward together
with our employees

スポーツで寄り添う

フルマラソンに初挑戦するお客様が来店されました。
『昔、膝を悪くして不安があるので、保護用の機能性タイツを見に来たのですが、どれを選べばいいかわからないし、機能性タイツってこんなに高いんですね…。』
そこで、機能性タイツの効能について、身体の仕組みを交えながらご説明させて頂きました。また、膝への負担の軽減効果が見込まれるインソール(靴の中敷き)も合わせてご紹介させて頂き、最終的に両方ご購入頂きました。
『身体のしくみから、機能性タイツの重要性まで分かりやすく説明して頂き、とても満足して買い物できました。』
マラソン大会が終わり、お客様からご連絡を頂きました。
『フルマラソンを無事に完走することができました。本当にありがとう!』
私も自分のことのように嬉しくなりました。
『またお店に足を運びますね。その時もぜひあなたに接客をしてもらいたいです。本当にありがとうございました。』

このようにゼビオグループには様々な想いを持ってお客様が来店されます。
たくさんあるお店の中からゼビオを選んで頂けることだけでなく、お客様に寄り添いつつ、その想いを共有し、共に喜び合える関係の構築を許容頂けることにも、感謝の念が絶えません。
これからも、お客様と良好な関係を築き、お客様の期待を超えるサービスを提供し続けられるよう、「お客様第一主義」に基づいた事業活動に取り組んでまいります。

スポーツで叶える

私たちゼビオグループには、「X-DNA」と呼んでいる精神があります。
・全ての社員が自ら考え、行動する精神
・仲間やお客様と向き合い、喜びや感動を創り出す精神
・変化し続けるために全力を尽くす精神
私たちの日々の仕事がお客様にどのような付加価値を提供できるかを考え、その価値によりもたらされる喜びや感動を想像し、急速に変化するお客様のニーズに対しこれらの価値を常に提供し続ける為の断続的な努力を継続します。
「X-DNA」とは、全力でお客様に向き合い、尽くすことの重要性を説くとともに、これを達成する為に必要となる心構えを表しており、創業以来脈々と受け継がれてきました。

ゼビオグループでは、現役スポーツ選手やかつてスポーツ選手だった仲間も多く働いています。このことは、彼らにとっては、競技時間外或いは引退後も、スポーツを身近に感じられる環境に身を置くことができ、彼らの知識や経験と「X-DNA」が掛け合わさることで、お客様をはじめゼビオグループに関わる多くの方々にとっても、より大きな付加価値を得る機会を与えてくれると考えております。

私たちは、スポーツのちからを信じています。今後、スポーツのちからで実現できることがますます増えていくと信じています。ゼビオグループで働く全てのひとは、その信念と「X-DNA」の精神をここに秘め、スポーツを通じてお客様の想いを叶えるお手伝いに全身全霊をかけて取り組んでまいります。

お取引先様とともに

Moving forward together
with our business partners



株主様とともに

Moving forward together
with our shareholders

スポーツでつながる

私たちにとって、重要なステークホルダーの一員であるお取引先様。多様化するお客様のニーズに応え、お客様に喜ばれる商品を提供するために、私たちは商品を生産しているお取引先様との協力関係を強化しております。

ゼビオグループのコア事業である小売業は、お客様に商品を届ける最終ランナーの役割を担っております。それはつまり、作り手を始め、お客様にお届けする商品に携わる全ての方の想いがつまったバトンを、確実にお客様にお届けする使命を託されると同時に、その想いを受け取ったお客様から、直接その声を聞くことができるポジションでもあります。

その商品を受け取ったお客様の想いを、その商品にこれまで携わってきた方々へ適切にフィードバックすることも、私たちの重要な使命と捉え、お客様満足の向上をお互いに追求し合う関係を構築することに努めております。

「その商品をご利用される全てのひとに幸福を感じて頂く。」この信念をお取引先様と共有し繋がることで、お取引先様との協業を深耕し、「WIN-WIN」の関係を構築しながら持続的な成長を遂げてゆきたいと考えております。

スポーツで伝える

当社の主なIR活動は、半期に一度機関投資家様及び報道機関様向けの決算説明会開催に加え、四半期毎に決算発表資料の開示及び証券会社様主催のsmall meetingへの参加を実施しております。またホームページ上では、「決算短信」「決算発表資料」「事業報告書」に加え、月次売上高前年比やプレスリリースを開示することで、当社の状況を株主の皆様へお伝えさせて頂いております。

また株主様には、ゼビオグループ店舗のお客様でもあって欲しいとの願いから、一定の株式数を保有される株主様に対し、店舗でご使用頂ける株主御優待券を進呈しております。株主様に実際にご来店頂き、ゼビオグループの取り組みや取扱い商品が肌で感じて頂き、またスポーツと向き合うことで、これまで以上にスポーツの素晴らしさを体感して頂きたい、とも考えております。

私たちは長期に渡り株主様との関係性を構築していきたいと考え、「安定的な配当の実施による中長期的な株主還元」を基本方針として取り組んでまいります。



社会とともに Moving forward together



スポーツで支える

「スポーツの国をつくらう。」

スポーツの可能性を信じ、スポーツに携わることを生業にしているゼビオグループとして、スポーツをより身近に楽しんで頂く機会を創出することが、私たちが標榜するこの国の在り方を実現する為の使命と捉え、スポーツ振興活動にも積極的に取り組んでおります。

「スポーツに感動できる人がたくさん住む国の未来は明るいと、私たちは信じています。」

スポーツが秘める無限の可能性は、人々の心を癒すこと、心を繋ぐこと、心を満たす、心を成長させることも可能になると考えます。スポーツを通じた地域活性化や次世代育成活動に対しても、ゼビオグループとして積極的に関わってまいります。

環境保全活動

廃棄物削減に向けた取り組みと リサイクル活動の推進

当社グループでは、廃棄物削減に向けた取り組みとして、物流拠点から店舗へ商品を納入する際、再利用可能なコンテナを使用することで、梱包材のリユース化を促進しております。また段ボールを使用して商品を店舗へ納入する場合においても、使用された段ボールをリサイクル業者へ引き渡し、再利用に向けた加工をお願いする取り組みも進めており、廃棄物削減に努めております。また、グループ各社が連携し中古クラブ循環型流通システムを確立することで、ゴルフクラブのリユース化を促進しております。スポーツ用品が、様々なオーナー様の手を渡りながら、末長くご利用頂ける環境を整えることで、地球環境にも優しいスポーツ環境作りに貢献しております。

スポーツ振興活動

フットサルを通じた次世代育成「XEBIO for KIDS」

フットサルを通じて次世代を担う子ども達にも夢や感動を与え、明るい社会づくりを目指し、日本フットサルリーグとともに2015年度より開催しております。Super Sports XEBIO Fリーグでは選手とともに入場する「エスコートキッズ」や、元フットサル日本代表選手によるフットサルクリニックが受けられる「フットサルキャラバン」など憧れの選手と触れ合える機会を提供しました。(写真7)

各種スポーツにおけるゼビオカップ、イベントの開催

サッカー・バスケットボール・テニス・ゴルフ等の各種競技において、年間300以上のイベントを開催もしくは協力しています。地域に根差す店舗をめざし、小学生から社会人まで幅広い年代の方に参加頂き、スポーツを通じたコミュニケーションの場を提供し、技術向上と競技人口の拡大、また青少年の健全な育成に努めています。(写真8)

楽しいランニングライフをサポート「ランニングユナイテッド」

ランニングをする機会を創出し、「走る楽しさ、喜び」を多くの方と広げるため、ゼビオグループが運営するランニングコミュニティとして設立し、ゼビオグループの各店舗を起点に行っております。ランニングは、スポーツが苦手な方でも気軽に始めることができ、全てのスポーツの基本となる動きです。お子さま、ご家族、お友達同士、職場の仲間など様々な方が集まり、一緒に走るきっかけを作ることで、地域の皆さまのランニングライフがより楽しくなるようスポーツナビゲーターがサポートしてまいります。(写真9)

社会貢献

スポーツを通じた触れあいを 大切にする支援

東日本大震災以降、東北各地の店舗を基点に、ゼビオグループのスタッフが直接東北の皆様への支援活動を継続しています。「ころを動かすスポーツ。」という考えのもと、スポーツ選手を講師に招くなど、楽しく身体を動かす機会を作ってきました。(写真1)

2016年4月に発生した熊本地震において、東日本大震災の経験を踏まえゴルフパートナーは復興支援活動「ゴルフを通じて熊本に元気を届けよう!」を開催いたしました。熊本県内にあるゴルフ場5コースと協力し、さらにクラブの無償貸し出しを実施し、プレーが出来る環境を提供いたしました。ゴルフ場5会場で開催したコンペはのべ504名のお客様にご参加いただき、合計510,420円の寄付金を熊本市長へお渡ししました。ゼビオグループはこれからもお客様が安心してスポーツができる環境を提供し続けてまいります。(写真2,3)

小学生の体験学習プログラム 「スチューデント・シティ」

東京都品川区、福島県いわき市、宮城県仙台市の3ヶ所にて、小学5・6年生を対象にした職場体験施設において模擬店舗を出し、商品陳列や接客等の体験学習の機会提供を行っています。子ども達に仕事を通じた達成感や経済の仕組みを実感し、成長してもらうことを目標に、ゼビオグループの人財や知識・ノウハウといった資産を地域に還元できるような努めております。(写真4)

「いわき志塾」でゼビオアスリート社員が 中学生約80名へ講義

「いわき志塾」は、未来のリーダーを育成するためのプログラムです(主催:いわき市教育委員会)。当社からは2名のアスリート社員が参加し、スポーツから学んだこと、目標設定、大切にしていることなどをお話させて頂きました。生徒のみなさんは、講義を受けてディスカッションや発表などを行い、改めて将来の夢を考える機会となりました。(写真5,6)

産学連携。学生教育の支援と 当社経営ノウハウの地域社会への還元

各大学と連携し、市民講座の開催、インターンシップの受け入れ、共同研究、当社社員による講義などを実施しています。

見る・知る・体験するをテーマとした スポーツコミュニティ空間「XSPOT」

スポーツは楽しみ、喜び、そしてコミュニケーションです。そんなスポーツを通じた今までにない全く新しいコミュニティ空間が「XSPOT(クロススポット)」です。スポーツを見る・知る・体験することをテーマに、最新の情報、商品、サービスを結集させるとともに仲間と交流することができます。スポーツを愛する人たちの触れ合いを深めながら、スポーツが持つ感動的な瞬間をこれまで以上に大きく広げていきたいと考えています。(写真10)

ユナイテッド・スポーツ・ ファウンデーションとの協働

一般財団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーションは、「One World, One Team」をメッセージとして掲げ、震災復興支援や、将来を担う子ども達への育成支援、その他、スポーツイベント等を通じて、グローバルな視点からスポーツの文化振興を行っている財団です。ゼビオグループでは、当財団の理念に共感し、レジ前募金や、スポーツを軸にした支援活動やイベントを通じて、支援協力を行っております。引き続き、本業である「スポーツ」を軸に、スポーツの文化振興活動や、子ども達への心身の健康ケアを目的とした活動を推進してまいります。

■ゼビオホールディングス株式会社

商号 ゼビオホールディングス株式会社 (XEBIO Holdings Co., Ltd.)
東京オフィス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階
電話 024-938-1111 (代表)
本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35 U R L http://www.xebio.co.jp/

■ゼビオ株式会社

大型総合スポーツリテール「スーパースポーツゼビオ」を全国で展開。圧倒的な売場面積にビギナーから上級者向けまで、豊富な品揃えをご用意。加えてスポーツメカニクス専門店やスポーツドラッグストアも構え、スポーツを楽しむ方を総合的にサポート。

商号 ゼビオ株式会社 (XEBIO Co., Ltd.)
宇都宮 〒320-0038 栃木県宇都宮市星が丘2-1-8
本社所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階
東京オフィス 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35
事業内容 スポーツ用品・用具、紳士・婦人・子供服の販売
電話 028-624-5134 (代表)
U R L http://www.supersports.co.jp/

■株式会社ヴィクトリア

首都圏及び特定商圏に特化した総合スポーツリテール。世の中のトレンドをいち早く感知し、グループ店舗へ伝達するトレンドリーダー。

商号 株式会社ヴィクトリア (Victoria Co., Ltd.)
本社所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア12階
事業内容 スポーツ用品販売
電話 03-5282-7700 (代表)
U R L http://www.victoria.co.jp/

■株式会社ゴルフパートナー

中古ゴルフ事業、ゴルフ練習場事業を全国で展開。中古ゴルフショップ「ゴルフパートナー」は、直営のみならずフランチャイズでも展開し、中古ゴルフ市場では圧倒的なシェアを誇る。

商号 株式会社ゴルフパートナー (GOLF Partner Co., Ltd.)
本社所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア13階
事業内容 総合ゴルフショップ「ゴルフパートナー」フランチャイズチェーン事業、「フェスティバルゴルフ」事業、練習場事業
電話 03-5217-9700 (代表)
U R L http://www.golfpartner.co.jp/

■クロススポーツマーケティング株式会社

グループのマーケティングエージェントの立場として、販促・広報活動でグループを牽引。ゼビオグループのスポーツ振興活動や社会貢献活動において、中心的役割を担う。

商号 クロススポーツマーケティング株式会社 (Cross Sports Marketing Co., Ltd.)
本社所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階
事業内容 マーケティング事業、リサーチ・コンサルティング事業、イベント・プロモーション事業、プロパティ管理事業
電話 03-5282-7655 (代表)
U R L http://www.xsmktg.com/

■クロステックスポーツ株式会社

ゼビオグループのなかで、海外窓口業務、R&D業務を担当。グループとして新たな試みに取り組み際のブレイン機能の一翼を担う。

商号 クロステックスポーツ株式会社 (Cross Tech Sports Co., Ltd.)
東京オフィス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア2階
本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35
事業内容 海外窓口業務、R&D業務
電話 03-3294-7351 (代表)

■ゼビオコーポレート株式会社

ゼビオグループのバックオフィス業務を一手に担い、グループの業務効率改善を推進する役割を担う。

商号 ゼビオコーポレート株式会社 (XEBIO Corporate Co., Ltd.)
本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-7
東京オフィス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階
事業内容 グループコーポレート業務受託事業
電話 024-927-7715 (代表)
U R L http://www.xebio-xbs.jp/

主な連結子会社

サービス事業

- クロスプラネット株式会社
インターネットを活用したスポーツ関連サービス事業、ECサイト管理運営事業、ゴルフ場予約サービス事業
- ゼビオカード株式会社
クレジットカード事業、割賦販売事業 http://www.xebiocard.co.jp/

スポーツ関連事業

- 東北アイスホッケークラブ株式会社
プロスポーツチーム運営(東北フリーブレイズ) http://www.freeblades.jp/

研修宿泊事業

- 国土観光株式会社 研修宿泊事業

海外事業

- 賽標(中国) 体育用品有限公司
上海におけるスポーツ用品小売事業 http://www.xebio.cn/
- 賽標(成都) 体育用品有限公司
成都におけるスポーツ用品小売事業

その他事業

- ゼビオインシュアランスサービス株式会社
損害保険・生命保険総合代理店 http://www.xis.co.jp/
- ゼビオナビゲーターズネットワーク株式会社
販売業務請負業、人材育成事業、人材派遣事業

取締役及び監査役 / Directors & Corporate Auditors

*1 会社法第2条第15号に定める社外取締役
*1 External director as stipulated in Article 2 Paragraph 15 of the Companies Act
*2 会社法第2条第16号に定める社外監査役
*2 External corporate auditor as stipulated in Article 2 Paragraph 16 of the Companies Act



代表取締役社長
諸橋 友良
President
Tomoyoshi Morohashi



取締役
北沢 猛
Director
Takeshi Kitazawa



社外取締役 *1
谷代 正毅
External Director *1
Masatake Yashiro



社外取締役 *1
石綿 学
External Director *1
Gaku Ishiwata



社外取締役 *1
太田 道彦
External Director *1
Michihiko Ota



監査役
加藤 則宏
Corporate Auditor
Norihiro Kato



社外監査役 *2
高久 敏雄
External Corporate Auditor *2
Toshio Takaku



社外監査役 *2
小谷野 幹雄
External Corporate Auditor *2
Mikio Koyano

執行役員 / Corporate Officers



副社長執行役員(事業運営担当)
ゼビオ株式会社代表取締役社長
加藤 智治
Executive Vice President
President XEBIO Co., Ltd.
Tomoharu Kato



副社長執行役員(マーケティング担当)
クロススポーツマーケティング株式会社代表取締役社長
中村 考昭
Executive Vice President
President Cross Sports Marketing Co., Ltd.
Takaaki Nakamura



専務執行役員(グループ経営統括担当)
ゼビオコーポレート株式会社代表取締役社長
櫻井 龍一
Senior Corporate Executive Officer
President Xebio Corporate Co., Ltd.
Ryuichi Sakurai



執行役員(グループゴルフビジネス担当)
株式会社ゴルフパートナー代表取締役社長
石田 純哉
Corporate Officer
President Golf Partner Co., Ltd.
Junya Ishida



執行役員(グループブランド戦略担当)
クロステックスポーツ株式会社代表取締役社長
村井 宏行
Corporate Officer
President Cross Tech Sports Co., Ltd.
Hiroyuki Murai



執行役員(グループ業務管理担当)
ゼビオコーポレート株式会社専務取締役
大島 康夫
Corporate Officer
Executive Director Xebio Corporate Co., Ltd.
Yasuo Oshima

1973年 7月

紳士服販売を目的として、福島県いわき市に株式会社サンスーツを設立。



1979年 8月

株式会社サンキョウに商号を変更し、本店を福島県郡山市に移転。

1979年 11月

福島市の旧長崎屋ビルにファッション&スポーツをテーマとした当社初の大型店を出店。

1983年 11月

郊外型スポーツ店の「トップスポーツ並木店」を郡山市に出店。

1984年 10月

郊外型メンズ店の「サンキョウ安積店」を郡山市に出店。

1985年 11月

郊外型カジュアル単独店の「メンズキャバ桑野店」を郡山市に出店。



1987年 11月

ゼビオ株式会社へ商号を変更。

1988年 4月

社団法人日本証券業協会東京地区協会に店頭登録。

1988年 7月

福島県郡山市朝日三丁目7番35号に新社屋を竣工。

1990年 5月

東京証券取引所市場第二部に上場。

1990年 7月

当社初の郊外型ゴルフ専門店「ゼビオスポーツ勝田店」を茨城県勝田市(現・ひたちなか市)に出店。

1991年 4月

株式会社磐梯リゾートホテル(現・清稜山株式会社)の株式を100%取得、子会社化。

1992年 10月

本宮物流センター竣工。

1992年 12月

郊外型大型複合店「スーパースポーツゼビオ仙台中央店(1フロア1,000坪)を宮城県仙台市に出店。

1995年 9月

東京証券取引所市場第一部に指定替。

1996年 6月

英国の製造小売チェーン「ネクスト社」と業務提携契約を締結。

1999年 11月

国内最大級の売場面積(約2,500坪)を持ち自然をテーマにした「スーパースポーツゼビオドーム札幌月寒店」を北海道札幌市に出店。

2002年 3月

ゼビー業態を廃止し、スポーツ業態へ統合。

2004年 7月

ゼビオビジネスサービス株式会社を設立(現・ゼビオコーポレート株式会社)

2005年 4月

株式会社ヴィクトリアの株式を100%取得、子会社化。



2005年 8月

ゼビオインシュアランスサービス株式会社を設立。

2006年 6月

ゼビオカード株式会社を設立。

2008年 7月

ゼビオナビゲーターズネットワーク株式会社を設立。

2008年 10月

株式会社ゴルフパートナーの株式を公開買付けにより取得し、子会社化。

2009年 4月

株式会社ゴルフパートナーを簡易株式交換により完全子会社化。

2010年 6月

日本最大級の体験型スポーツモール「スーパースポーツゼビオドームつくば学園東大通り店」を茨城県土浦市に出店。



2011年 5月

クロススポーツマーケティング株式会社を設立。

2012年 2月

中華人民共和国上海市に賽標(中国)体育用品有限公司を設立。

2012年 4月

大韓民国ソウル市に株式会社ゼビオコリアを設立。

2012年 6月

海外第1号店「スーパースポーツゼビオ上海浦東店」を中華人民共和国上海市に出店。

2013年 3月

海外第2号店「スーパースポーツゼビオソウルウルチロ店」を大韓民国ソウル市に出店。

2013年 12月

株式会社ネクサス設立。(現 株式会社ヴィクトリア ネクサスカンパニー)北東北で総合スポーツ専門店として展開していた株式会社タケダスポーツから23店舗の営業を譲り受ける。

2015年 10月

純粋持株会社体制へ移行。ゼビオホールディングス株式会社のもとに中核会社6社を配置。

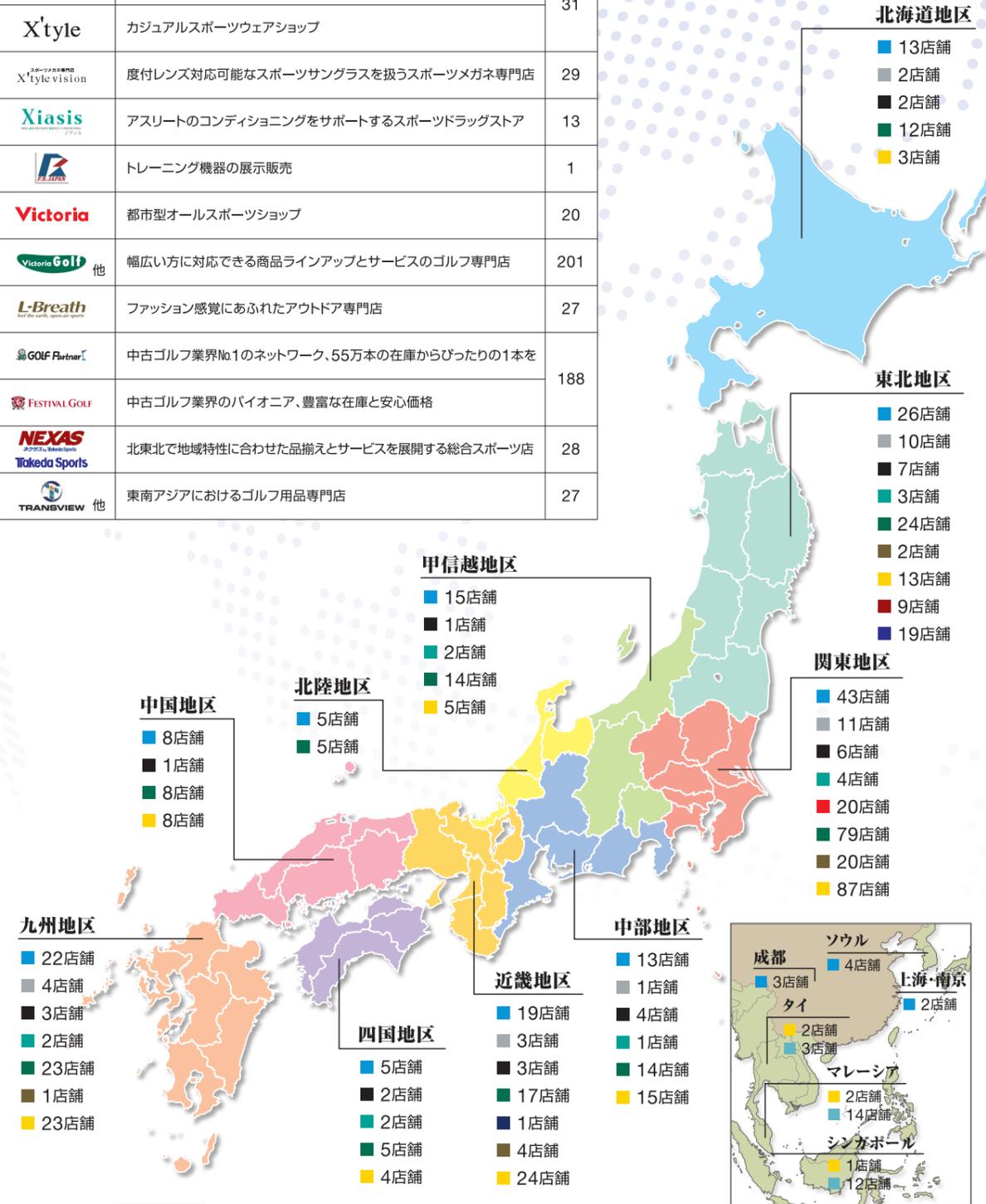
2016年 2月

日本初のPGA TOUR公認ゴルフショップを出店。

ゼビオグループ 743店舗 (FC除く)

2017年3月31日現在

看板	特徴	店舗数
	あらゆるスポーツ用品・用具を取り揃えた大型総合スポーツ専門店	178
	地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店	
	世界36か国に700店以上を展開するイギリス最大のSPAブランド	31
	カジュアルスポーツウェアショップ	
	度付レンズ対応可能なスポーツサングラスを扱うスポーツメガネ専門店	29
	アスリートのコンディショニングをサポートするスポーツドラッグストア	13
	トレーニング機器の展示販売	1
	都市型オールスポーツショップ	20
	幅広い方に対応できる商品ラインアップとサービスのゴルフ専門店	201
	ファッション感覚にあふれたアウトドア専門店	27
	中古ゴルフ業界No.1のネットワーク、55万本の在庫からぴったりの1本を	188
	中古ゴルフ業界のバイオニア、豊富な在庫と安心価格	
	北東北で地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店	28
	東南アジアにおけるゴルフ用品専門店	27



- July 1973** Established as Sansuits Co., Ltd. in Iwaki City, Fukushima Prefecture, selling formal suits for men.
- November 1987** Trade name changed to XEBIO Co., Ltd.
- July 1988** New head office completed at 3-7-35 Asahi, Koriyama City, Fukushima Prefecture.
- December 1992** Suburban large complex "Super Sports XEBIO Izumi-Chuo Sendai" (3,300 m², one floor) opened in Sendai City, Miyagi Prefecture.
- September 1995** Listing changed to the first section of the Tokyo Stock Exchange.
- April 2005** Acquired 100% of shares of Victoria Co., Ltd.
- April 2009** Acquired full ownership of Golf Partner Co., Ltd. by simplified share exchange.
- June 2010** Japan's largest hands-on sports mall "Super Sports XEBIO Dome Tsukuba Gakuen-higashi Odori Store" opened in Tsuchiura City, Ibaraki Prefecture.
- February 2012** XEBIO China Co., Ltd. established in Shanghai, China.
- April 2012** XEBIO Korea Co., Ltd established in Seoul, Korea.
- December 2013** NEXAS Co., Ltd. (present NEXAS Company, in-house company of Victoria Co., Ltd.) established.
- October 2015** Transition to a pure holding company completed.

連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,588	25,226
受取手形及び売掛金	18,044	19,071
営業貸付金	1,958	1,826
商品	57,656	64,349
繰延税金資産	1,486	1,587
その他	6,449	6,470
貸倒引当金	△424	△623
流動資産合計	106,759	117,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,460	48,250
減価償却累計額	△28,805	△30,796
建物及び構築物(純額)	18,655	17,453
土地	15,416	15,484
リース資産	5,270	3,945
減価償却累計額	△2,073	△1,391
リース資産(純額)	3,197	2,554
建設仮勘定	418	124
その他	17,372	18,014
減価償却累計額	△13,619	△14,240
その他(純額)	3,752	3,774
有形固定資産合計	41,439	39,391
無形固定資産		
のれん	4,223	3,586
ソフトウェア	2,283	1,626
その他	1,199	1,257
無形固定資産合計	7,706	6,470
投資その他の資産		
投資有価証券	993	1,058
長期貸付金	126	39
繰延税金資産	2,334	2,455
差入保証金	4,180	4,025
敷金	14,163	14,068
投資不動産	4,006	3,726
減価償却累計額	△2,066	△1,997
投資不動産(純額)	1,940	1,729
退職給付に係る資産	142	595
その他	1,173	1,070
貸倒引当金	△84	△68
投資その他の資産合計	24,969	24,973
固定資産合計	74,116	70,836
資産合計	180,875	188,744

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,828	17,576
電子記録債務	24,561	28,853
短期借入金	295	190
未払法人税等	2,555	3,046
賞与引当金	1,128	1,224
役員賞与引当金	15	15
ポイント引当金	1,652	1,593
その他	10,754	11,261
流動負債合計	56,791	63,761
固定負債		
リース債務	3,090	2,719
繰延税金負債	110	91
退職給付に係る負債	697	756
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	3,978	4,139
その他	489	437
固定負債合計	8,426	8,203
負債合計	65,218	71,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,154	16,149
利益剰余金	87,932	89,353
自己株式	△4,994	△5,736
株主資本合計	115,028	115,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	280
為替換算調整勘定	549	587
退職給付に係る調整累計額	△502	△224
その他の包括利益累計額合計	282	643
新株予約権	336	433
非支配株主持分	10	1
純資産合計	115,657	116,779
負債純資産合計	180,875	188,744

株式情報 (2017年3月31日現在)

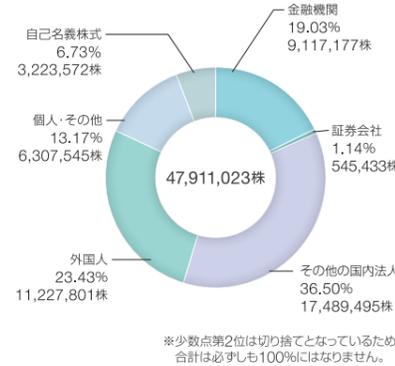
証券コード: 8281
上場証券取引所: 東京証券取引所市場第一部

株式の状況

発行可能株式総数 135,000,000株
発行済株式の総数 47,911,023株
株主数 12,622名

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社サンピック	8,252,605	18.5
公益財団法人諸橋近代美術館	4,500,000	10.1
有限会社ティール・ティール・シー	4,121,466	9.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,848,300	4.1
BNYMSANV AS AGENT/ CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	1,763,800	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,625,800	3.6
諸橋 輝子	1,392,364	3.1
諸橋 友良	1,173,250	2.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,166,300	2.6
諸橋 寛子	900,897	2.0

所有者別 株式分布状況



※ 1. 当社は、自己株式3,223,572株を保有しておりますが、議決権がないため、上記大株主から除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
※ 2. 信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式数が含まれております。

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (連結損益計算書)

	前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
売上高	221,391	223,353
売上原価	135,777	134,181
売上総利益	85,614	89,171
販売費及び一般管理費	79,444	81,743
営業利益	6,169	7,428
営業外収益		
受取利息	100	113
受取配当金	19	17
不動産賃貸料	936	743
業務委託料	381	359
その他	348	297
営業外収益合計	1,786	1,530
営業外費用		
支払利息	51	10
為替差損	234	315
不動産賃貸費用	770	697
業務委託費用	406	383
その他	95	53
営業外費用合計	1,559	1,459
経常利益	6,396	7,499
特別利益		
固定資産売却益	17	293
投資有価証券売却益	70	—
受取保険金	—	372
特別利益合計	87	665
特別損失		
固定資産売却損	35	—
固定資産除却損	134	118
減損損失	1,577	1,151
災害による損失	—	318
店舗閉鎖損失	34	1
賃貸借契約解約損	0	—
特別損失合計	1,782	1,589
税金等調整前当期純利益	4,701	6,575
法人税、住民税及び事業税	3,109	3,949
法人税等調整額	△518	△357
法人税等合計	2,590	3,591
当期純利益	2,111	2,983
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△8	△8
親会社株主に帰属する当期純利益	2,120	2,991

(連結包括利益計算書)

	前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
当期純利益	2,111	2,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	45
為替換算調整勘定	△228	37
退職給付に係る調整額	△460	277
その他の包括利益合計	△776	361
包括利益(内訳)	1,334	3,344
親会社株主に係る包括利益	1,343	3,352
非支配株主に係る包括利益	△8	△8

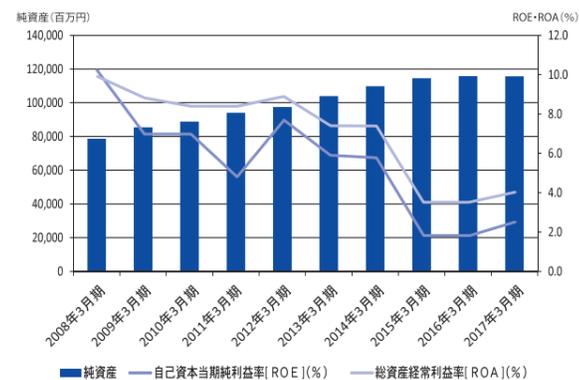
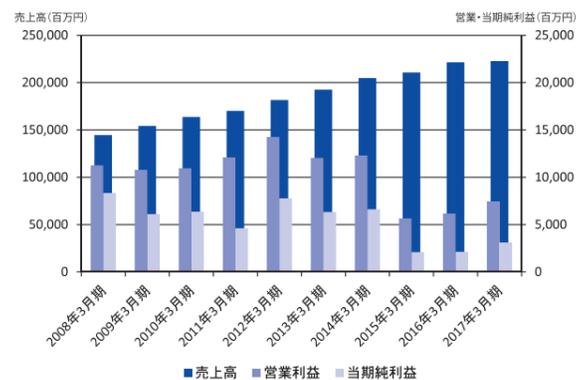
(3) 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,701	6,575
減価償却費	5,686	5,521
減損損失	1,577	1,151
のれん償却額	618	612
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△82	182
賞与引当金の増減額(△は減少)	109	96
ポイント引当金の増減額(△は減少)	16	△59
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	120	58
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	402	△453
受取利息及び受取配当金	△120	△130
支払利息	51	10
受取保険金	—	△372
固定資産除却損	134	118
災害損失	—	318
店舗閉鎖損失	34	1
賃貸借契約解約損	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,428	△1,026
営業貸付金の増減額(△は増加)	76	132
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,914	△6,959
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,870	6,040
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,142	1,078
その他	△252	343
小計	5,720	13,240
利息及び配当金の受取額	64	73
利息の支払額	△51	△10
法人税等の支払額	△1,401	△3,429
法人税等の還付額	806	198
保険金の受取額	—	372
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,138	10,444

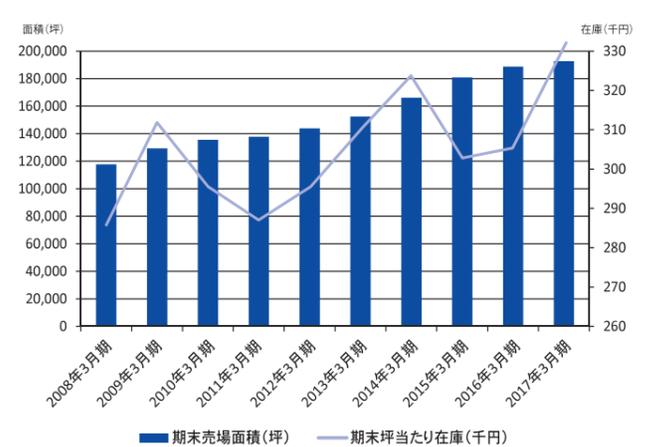
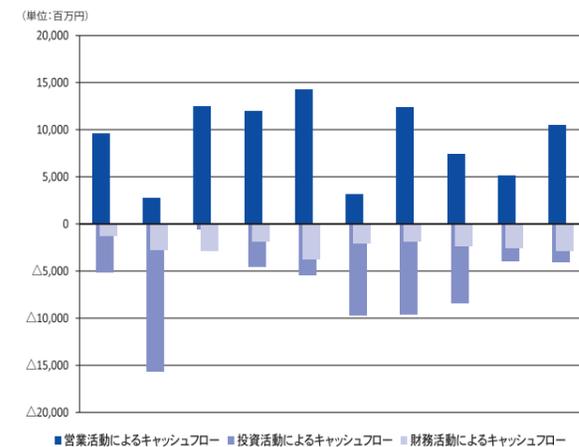
(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,412	△3,637
有形固定資産の売却による収入	5	13
有形固定資産の除却による支出	△146	△94
無形固定資産の取得による支出	△855	△1,047
投資不動産の取得による支出	△58	△9
投資不動産の売却による収入	798	452
定期預金の預入による支出	△69	△13
定期預金の払戻による収入	—	31
有価証券の償還による収入	1,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,392	△1,149
敷金及び保証金の回収による収入	1,234	1,348
預り保証金の受入による収入	30	20
預り保証金の返還による支出	△87	△62
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△0	—
事業譲受による支出	△147	—
その他	187	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,913	△4,090
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△421	△105
長期借入金の返済による支出	△11	—
非支配株主からの払込みによる収入	5	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△585	△460
自己株式の取得による支出	△145	△742
自己株式の売却による収入	0	—
ストックオプションの行使による収入	163	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△5
配当金の支払額	△1,579	△1,569
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,574	△2,882
現金及び現金同等物に係る換算差額	△97	185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,447	3,656
現金及び現金同等物の期首残高	22,939	21,519
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	28	—
現金及び現金同等物の期末残高	21,519	25,176

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
(単位：百万円)				
経営成績				
売上高	144,515	154,159	163,664	170,183
売上総利益	55,135	59,613	62,202	65,731
営業利益	11,253	10,774	10,943	12,091
経常利益	12,637	11,979	12,048	12,797
当期純利益	8,342	6,105	6,355	4,618
財政状況				
流動資産	73,298	67,373	78,989	83,204
有形固定資産	31,195	34,990	34,994	35,319
無形固定資産	1,176	7,694	8,156	8,533
投資その他資産	27,452	28,605	26,152	25,507
資産合計	133,123	138,663	148,293	152,566
流動負債	44,562	45,942	49,074	48,091
固定負債	3,134	3,925	5,151	7,020
純資産	85,426	88,795	94,067	97,453
キャッシュフロー				
営業活動によるキャッシュフロー	9,602	2,724	12,476	11,910
投資活動によるキャッシュフロー	△ 5,097	△ 15,661	△ 600	△ 4,547
財務活動によるキャッシュフロー	△ 1,305	△ 2,761	△ 2,798	△ 1,868
1株当たり情報				
1株当たり純資産 (円)	1,864.17	1,979.57	2,089.80	2,164.11
1株当たり当期純利益 (円)	182.11	133.46	141.23	102.60
1株当たり配当金 (円)	30.00	30.00	30.00	30.00
財務指標				
自己資本当期純利益率 [ROE] (%)	10.2	7.0	7.0	4.8
総資産経常利益率 [ROA] (%)	9.9	8.8	8.4	8.4
自己資本比率 (%)	64.2	64.0	63.4	63.8
その他データ				
期末売場面積 (坪)	117,749	129,389	135,529	137,715
期末坪当たり在庫 (千円)	286	312	296	287



	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
(単位：百万円)						
売上高	181,577	192,628	204,779	210,672	221,391	223,353
売上総利益	71,730	75,490	81,403	80,850	85,614	89,171
営業利益	14,257	12,042	12,295	5,654	6,169	7,428
経常利益	14,658	12,471	12,985	6,432	6,396	7,499
当期純利益	7,772	6,332	6,618	2,084	2,120	2,991
流動資産	94,909	94,173	106,081	105,153	106,759	117,908
有形固定資産	36,363	38,005	40,439	40,663	41,439	39,391
無形固定資産	8,702	8,132	8,037	8,233	7,706	6,470
投資その他資産	24,784	27,482	26,825	27,648	24,969	24,973
資産合計	164,759	167,793	181,383	181,698	180,875	188,744
流動負債	54,642	50,471	59,198	57,231	56,791	63,761
固定負債	6,150	7,557	7,606	8,685	8,426	8,203
純資産	103,966	109,764	114,579	115,781	115,657	116,779
営業活動によるキャッシュフロー	14,221	3,092	12,385	7,424	5,138	10,444
投資活動によるキャッシュフロー	△ 5,414	△ 9,712	△ 9,552	△ 8,427	△ 3,913	△ 4,090
財務活動によるキャッシュフロー	△ 3,694	△ 2,088	△ 1,794	△ 2,293	△ 2,574	△ 2,882
1株当たり純資産 (円)	2,307.59	2,429.93	2,534.30	2,560.85	2,556.27	2,603.52
1株当たり当期純利益 (円)	172.68	140.68	146.91	46.24	46.95	66.89
1株当たり配当金 (円)	30.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
自己資本当期純利益率 [ROE] (%)	7.7	5.9	5.8	1.8	1.8	2.6
総資産経常利益率 [ROA] (%)	8.9	7.4	7.4	3.5	3.5	4.0
自己資本比率 (%)	63.0	65.2	63.0	63.6	63.8	61.6
期末売場面積 (坪)	143,882	152,453	166,168	180,796	188,755	193,193
期末坪当たり在庫 (千円)	295	310	324	303	305	333



Corporate Philosophy

Under the principle of fair competition, XEBIO Group will strive to contribute to society through its business operations based on the “Customer First Standard” by securing qualified human resources, financing and structuring of the company.

Management Policy

- # Setting numerical targets as qualitative indicators rather than quantitative indicators
- # Expanding our business to become an “only one” company rather than a “number one” company
- # Becoming a company that is recognized as “only one” by our shareholders, customers, business partners, employees and local communities



Origin of the Company Name

The company name “XEBIO” comes from two words. XEchoristos means “unique” in Greek while BIO means “life.” The former represents the company’s vision statement directed toward society, and the latter represents the kind of culture that all our staff members keep in mind to make these statements true.

XEBIO Group will continue to lead trends in the sports world as a Group comprised of unique individuals who can sense and respond to the needs of our customers as represented by the “X” expanding like an antenna from XEBIO, and create today’s trends.

1. Vision statement toward society ... **XE**CHORISTOS-**BIO**s
“Unique lifestyle”
2. Attitude shared by all our staff members ... **eX**panding & **E**nergetic **BIO**s
“Life that expands energetically into the future”

English Section Contents

32 Corporate Philosophy	38 Business Overview	50 Consolidated Financial Statements/Stock Information
33 To All Our Stakeholders	44 Stakeholder Communication	52 Financial Highlights
34 XEBIO Group Statement	48 XEBIO Group Core Companies	
36 Growth Strategy	49 Number of Stores	



Founded in 1962, XEBIO Group has always conducted its business activities based on its “Customer-First policy.” While securing the best in human resources along with financing and structuring the company under the principle of fair competition, we have followed the management principle of working towards our company’s growth and contributing to society together with our stakeholders.

This has been embedded in our DNA since the company was first established, and has been passed on through the years after we shifted our focus to the sports industry, and has continued even after we transitioned to a holding company structure in 2015.

We believe that the myriad roles for sports will increase greatly in the future since it contributes not only to fostering communication across boundaries and languages, but also helps people to stay healthy and even improve their health. XEBIO Group is therefore in a position to maximize the opportunities that sports offer as well as to continuously promote its significance as represented by the “VALUE POINT” which symbolizes the points of contact with our customers.

In 2017, the company launched a mid-term business plan to respond to a variety of societal changes that include a rapidly aging society with fewer children, development of IT technologies, diversification of purchases and preferences among our customers, and heightened health-consciousness. We intend to further evolve our “Sports Conglomerate Concept” and build a platform that presents opportunities for creating new values in sports.

We are committed to leading society toward a bright and vital future and will strive to be a company that is loved and trusted by our customers.

We would like to ask for your continued understanding and support into the future.

Tomoyoshi Morohashi
President/CEO

In 2010, we posted the company's mission statement as **"Sports that Move the Heart"** and shared it within the company with the goal of expressing the value of sports by maximizing the emotional benefits of sports through the Sports Navigation.

In 2013, a year marking the 50th anniversary of the company, we added a new mission, **"Creating a Sports Nation,"** in order to continuously increase in people's hearts the inspiring moment of sports which has the value to cross any border.

In 2016, we put the following into our mission statement: **"Fulfill Through Sports."** We believe and hope that the power of sports has the potential to solve a variety of emerging social challenges that Japan faces, and at the same time to lead Japan to realize a bright and vital society in 2020 and the years ahead.



"Sports that Move the Heart"

The mission of XEBIO Group is to identify, convey, express, and disseminate the appeal and potential of sports to the greatest extent possible, thereby generating value as a business. We are also determined to maximize the business value of sports by transforming business models in the sports industry. By achieving these goals, we aim to support the continuing development of sports, and at the same time contribute to local communities, helping people enjoy healthy and fulfilling lives enriched by sports.

XEBIO Group Declaration

- ◆ We will maximize the emotional value of sports.
- ◆ We will transform and create business models in the sports industry.
- ◆ We will make the world brighter and more vibrant through sports.



Creating a Sports Nation

The Japanese sports retail market is estimated to be worth about 1.7 trillion yen. Although there is concern that the sporting population will decrease due to the falling birthrate and the aging of society, a new market is emerging as running, trekking and other outdoor activities have become an established part of health-conscious lifestyles.

Besides the retail market, there are other sports-related businesses that include management and operations of professional sports teams, sports facilities and schools. In addition, the sports industry can also expand into its neighboring industries such as medical and health services, education, information services and fashion.

XEBIO Group has set up a "Sports Conglomerate Concept" aimed at proposing a "new value for sports" based on offering "sports" to as many people as possible while collaborating with a variety of business segments. As part of this concept, we are conducting activities to stimulate demand through local sporting communities. This does not simply mean holding sporting events but encouraging people who used to do sports to come back to a lifestyle of participating in sports to maintain "mental and physical health."

Sports has the power to inspire people to feel "a sense of belonging to a team," realize "the importance of working hard" and experience "the joy of victory," all rare in everyday life. Also, sports offer people various types of opportunities that include not just playing sports but also making friends through sports, watching sports, or cheering for players or teams. Under the "Sports Conglomerate Concept," we want to convey the "value" of sports to people who have had little opportunity to come into contact with sports and provide them with a variety of these opportunities. We hope to support people to achieve a sound and happy lifestyle with sports as an important part of their lives.

We believe that sports offer unlimited possibilities. By sharing and pursuing these unlimited possibilities with more people, we hope to grow together.

Fulfill Through Sports

XEBIO, which is the predecessor of XEBIO Holdings Co., Ltd., founded its business as a store specializing in men's suits. With the changing times, we moved to the casual apparel and sporting goods retail business and grew steadily. In 2002, we closed the casual apparel segment of "XEBY," and integrated it into the sporting goods segment. While concentrating management resources into the sporting goods business, we made efforts to conduct business expansion in the market. Continuously growing, we expanded our activities in different areas with the main core of "sports" through sports-related businesses and M&A activities.

XEBIO Group transformed itself into a pure holding company in October 2015 to establish a solid governance structure. Through the sound growth of XEBIO Group, we aim to respond quickly and efficiently to sudden changes in the business environment by implementing appropriate management strategies, continuing innovative measures, expanding operations, promoting business collaboration with large enterprises both in Japan and abroad as well as increasing M&A activities.

During the process of this transition, each group company has strengthened its area of specialty while enhancing mutual collaboration and interaction, thus leading the whole group to implement flexible and multi-faceted activities. As a result, we have been able to create a value higher than in the past, and have set up the "X-cube Concept" so that we can evolve into a corporate group that our customers can depend on.

Under the "X-cube Concept," we will collaborate not only between retail businesses but also with different types of industries, sports organizations and local communities to promote the attraction of sports to the highest degree possible. At the same time, we will innovate the business model of the sports industry while maximizing the value of sports as a business and consequently contribute to the sustainable development of sports.

In the years after 2021, Japan's social issues will become more diversified.

They will include the falling birthrate and aging of society, child rearing, the pension system, medical services, and healthy life expectancy.

As a company in a developed country that faces many challenges, we hope to solve various social issues through sports. In recent years, sports have become directly connected to every sector of society, and in many ways, sports can help in the resolution of these challenges and issues.

We believe that the future is bright for countries where there are many people who are inspired by sports.

It is our mission to make society bright and vital through sports and we will make every effort to realize this.





XEBIO Co., Ltd.

Total coordination in sports

XEBIO Co., Ltd. has opened large "Super Sports XEBIO" stores that are the mainstay of their retailing division and offer customers a comprehensive selection of sporting goods on spacious sales floors of an average 3,300 m² in the suburbs of major cities or within shopping centers. The stores have an outstanding lineup of items. There are also mid-sized "XEBIO Sports Express" shops with a space of an average of 660 m² located in high traffic areas such as inside train stations or shopping centers.

In recent years, there has been a tendency for people to seek fashionable sportswear. XEBIO has formed a partnership with "next," which is one of the largest "Specialty store retailer of Private label Apparel" (SPA) brands and is proud of its contemporary style, classical good taste, and high quality. "X'tyle" operates as an in-store shop or in a section of the Super Sports XEBIO store and offers a tasteful and elegant style of clothing that combines a sporty look with a casual one.

Vision is extremely important when playing sports. XEBIO manages "X'tyle vision" that specializes in sports eyewear, including sunglasses. We also manage a sports drugstore "Xiasis" that helps maintain and improve the physical condition of our customers. We have a network of stores and shops to support people from all perspectives who enjoy sports.

Making shopping more enjoyable

The "bear" and "moose" welcome visitors at the entrance to the stores. The "Sports Museum" section displays star athletes' uniforms and gear together with autographs of former star players. The sales floor in "Super Sports XEBIO" provides you with not only the pleasure of selecting from a large variety of goods but also wide spaces where you can relax and spend time leisurely with your family.

Amid rapid changes in the market environment, we are striving to meet various challenges and create a store that will be loved more by our customers. There are sections that display objects and layouts of specific sports such as basketball or futsal, play areas where children can exercise, sales floors geared towards women and spacious fitting rooms that can accommodate people with children. We are increasingly modifying the sales floors to provide greater comfort and relaxation for our customers.

In February 2016, the first official PGA TOUR store in Japan opened. With the idea of "Golf is Fun!" that goes beyond the concept of a simple shop, this store has various features that will give every golfer satisfaction and fulfillment.

For a fulfilling "sports life"

By making full use of new developments in sports technology so that athletes can demonstrate their best performances, our sales staff who have studied such technology through training sessions or study meetings, will help support your sports life. They will exchange your strings and grip for your racket, attach bindings to your snowboards that will improve your ability or prevent an injury, or create custom-made insoles for your shoes.

As Japan copes with issues such as a declining birthrate and increase in the aging population, XEBIO will continue to respond to our customers' needs and continuously offer maximum value via the "Value Point Card." Accordingly, we will do our best to be loved by not only people who are serious athletes but also people who want to enjoy sports for relaxation and feel a sense of fulfillment through them.

Victoria Co., Ltd.

Victoria Company



Sophisticated urban specialty shops

"Victoria" shops in the Kanto area deal with general sporting goods focusing on winter sports. "Victoria Golf" is a golf specialty shop for not just beginners but for professionals as well, and "L-Breath" is an outdoor gear specialty shop for customers to "Enjoy the outdoors in your daily life" as their key phrase to support people with a range of hobbies and interests to spend a fun and relaxing vacation.

Located in the densely populated area of central Tokyo which is often where new Japanese fashion trends begin, Victoria selects goods ahead of market trends and specializes in certain items according to location of the store.

Recently, there has been a trend toward a sportier look in clothes and urban dwellers are attracted to these items. Our shops have introduced a clothes lineup that has adapted the concept of "Super Sports XEBIO" that merges specialty with versatility.

NEXAS Company



Mid to small-sized market and "one to one marketing"

NEXAS took over the former Takeda Sports Company and operates sporting goods stores "Takeda Sports" and "NEXAS," with a small market area in the northern Tohoku area. Conveniently located, they offer customers items that are specific to the area which cannot be provided by a large store with a large market area.

In further pursuit of group synergy with XEBIO's integration into a holding company as the turning point, NEXAS actively absorbs know-how from other group companies with special skills or have changed their field of specialty. NEXAS is attempting to strengthen its direct sales division which was one of the strengths of the former Takeda Sports.

Aiming to become a store loved for generations

Both Victoria and NEXAS (former Takeda Sports) were long patronized by customers in local communities.

Both companies have obtained abundant experience and know-how during their long history. Such experience and know-how are combined with XEBIO's "X-DNA" spirit to produce shops rooted in local communities so that they will become a brand that will also be loved by future generations.



GOLF Partner Co. Ltd.



No. 1 in Japan's used golf equipment industry

In 1999, GOLF Partner was established with the mission to create and expand a new market for used golf clubs. In order to make used golf clubs available to more customers, GOLF Partner has introduced a franchise system, and has expanded the network for purchasing and selling used golf clubs, working closely with the owners of the franchises.

In order to support the franchise shop owners, we are providing services that include daily supervision, e-learning, a system for acquiring certification as a GOLF Partner certified Golf Club Setting Consultant, and holding various seminars.

Also, we use a system to share information on the availability of all golf clubs (currently about 550,000 clubs) in stock with our 329 shops (directly-managed and franchises), and can provide customers with up to date information at anytime.

Moving forward toward the next stage

At present, we are the market leader in our field, and we plan to go forward to the next level. From a "used golf shop" which offers high-end clubs at reasonable prices, we hope to become a "comprehensive golf shop" that can respond to every need whether it is for a new or used golf club.

Recently, we have been focusing on the driving range business. We are providing a system where customers can use the range and take lessons at our school. This will result in a synergistic effect through enhancing convenience for the customer and profitability for the business.

We hope to become a company that offers goods and services for golfers to realize a comfortable golf life. We will do this by establishing and operating the driving range business and golf school, websites to make reservations for the driving range and increasing e-commerce activities. We aim to be a "golf life partner" that supports all golfers.

To be the only choice for all golfers

The first baby boomers in Japan who have led the golf industry have reached retirement age, so there is a fear that golf courses will see a decline in users.

Against this background, we began the "First Golf Club Project" to let more people know about the pleasures of golfing. We present you with a second-hand golf club purchased from our customers to help you start playing golf.

We want to revitalize the golf industry through such activities as sponsorship of the "Japan PGA Grand Gold Senior Championship." In this way, we hope to foster enthusiasm among golf fans by creating opportunities for seniors to play golf for as long as they can and have them watch skilled experienced players up close playing in exciting games.

We wish to be a "true partner of golfers" that is trusted and loved by them. If you are having trouble selecting a golf club, we will help you choose one that is just right for you. If you are having trouble improving your scores, we will give you appropriate advice. Our goal is to be the only shop that will respond to all your golfing needs.

Other Businesses

Product marketing

Due to a rapidly changing business environment, XEBIO realizes the necessity of structural reforming throughout the Group. XEBIO Group has been putting its efforts into areas such as product development and branding, and changing its range of products responding to feedback from customers and developing products to meet customer needs. We will continue to create products that will satisfy and please our customers.

Internet business

In recent years, e-commerce has continued to expand. Although XEBIO Group deals mainly with over-the-counter sales, the Group is continuing developments in e-commerce. By pursuing the strength of omnichannel retailing through combining e-commerce and over-the-counter sales, we are creating a structure that will increase the value of the entire Group and realize higher customer satisfaction.

Sports promotion

Human beings and sports are connected in a variety of ways. They include "building friendships," "watching a game," and "cheering for a team or player," as well as actually "doing sports." XEBIO Group's fundamental approach toward its core business of sporting goods retailing is based on the "Sports Conglomerate" concept. The concept involves collaboration with companies in various types of businesses and proposes a "new value for sports" to as many people as possible.

XEBIO Group supports the activities and games of the "F League," the top futsal league in Japan. For 3-on-3 basketball, we are working to increase its popularity and raise its name recognition by hosting international invitational games and "Enjoy 3-on-3 Basketball Games" that are held all over the country as well as helping to manage the F League. In 2017, XEBIO Group hosted the "Reebok Spartan Race" that was held for the first time in Japan and also currently owns and operates the "Tohoku Free Blades" ice hockey club, which is a member of the Asian Ice Hockey League.

The underlying concept behind "XEBIO Arena Sendai" is to offer people a unique sports, concert, and event venue never before seen in Japan that maximizes the attractions of "arena sports" and "entertainment." We believe that the "XEBIO Arena Sendai" will have a positive effect on young children by giving them the opportunity to view or participate in sports, and encourage them to dream of becoming an athlete.

Our mission is "Creating a Sports Nation" and we are striving to do this by bringing changes to the sports environment in Japan where new communities can be formed and where people are linked by "sports."





Moving forward together with our customers

Offering total support to our customers through sports

"A customer came to the store. She was going to run in a full marathon for the first time. 'I came to get some compression tights to protect my knees because I suffered from knee damage in the past. I have no idea which kind to select. The compression tights are so expensive!'"

I explained to her the effects of compression tights on the human body together with their mechanism. I also showed and explained to her about insoles that would decrease the burden on the knee. She finally bought both the tights and insoles that I showed her. 'I am very satisfied with the service. The salesperson explained the mechanism of the human body and the importance of compression tights in a way that was easy to understand.'"

"I received a message from the customer after the marathon race was over. 'I was able to run the full marathon. Thank you so much for your support.' I was as happy as if it had been about myself. 'I will visit the store again in the future. I hope you can help me out again. Thank you so much.'"

Customers with a variety of needs visit our XEBIO Group stores.

We are very grateful to our customers who have selected our XEBIO stores over many others, and given us the pleasure of serving them.

We will continue to conduct business with the customer-first principle in mind so that we can establish good relationships with customers and continue to provide services that exceed their expectations.



Moving forward together with our business partners

Bonding through sports

Business partners are one of our most important stakeholders. By strengthening cooperation with our suppliers, we can provide goods that satisfy customers by responding to their diversified needs.

Retailing is XEBIO Group's core business and it is the "final runner" that delivers goods to customers. Retailing is responsible for handing over a "baton full of messages" from the people involved in the creation, distribution and final delivery of the goods, including manufacturers. At the same time, retailing is in the position of listening to the voices of the customers who receive the goods.

We think it is our mission to obtain feedback from customers and convey it to the people concerned. We will actively construct a relationship with these people to increase customer satisfaction.

We share the motto of "having all users of our products feel satisfaction" with our business partners and bond with them to deepen our collaboration. We will construct a "win-win" relationship together to ensure continued growth.

Realizing customers' wishes through sports

We, XEBIO Group, have the spirit of "X-DNA" which means:

- Spirit of **initiative** so that all of the employees can think and act independently
- Spirit of **hospitality** to create an atmosphere of pleasure and enjoyment for our customers through the total attention and service given to them by our staff
- Spirit of **change** for constant enhancement and improvement of services

We strive to supply our customers with various types of added values through our everyday services and imagine the pleasure produced by these added values. We continue to work ceaselessly to supply our customers with added values according to their rapidly changing needs. "X-DNA" describes the importance of providing customer service that is sincere and genuine. This is done with the staff's total attention to customers together with their attitude of putting the customer first. This "X-DNA" spirit has been passed down since the establishment of the company.

At XEBIO Group, many current and former athletes are working as staff members. They are able to work in an environment where "sports" are always near them. Also, by combining their knowledge and experience with the spirit of "X-DNA," customers and others associated with XEBIO Group are given the opportunity to obtain larger added values from them.

We believe in the power of sports. We think that sports have the capability to change and affect various facets of life in the future. All staff members working at XEBIO Group believe in the power of sports and will keep the spirit of "X-DNA" in their mind when they assist customers to realize their wishes through sports.



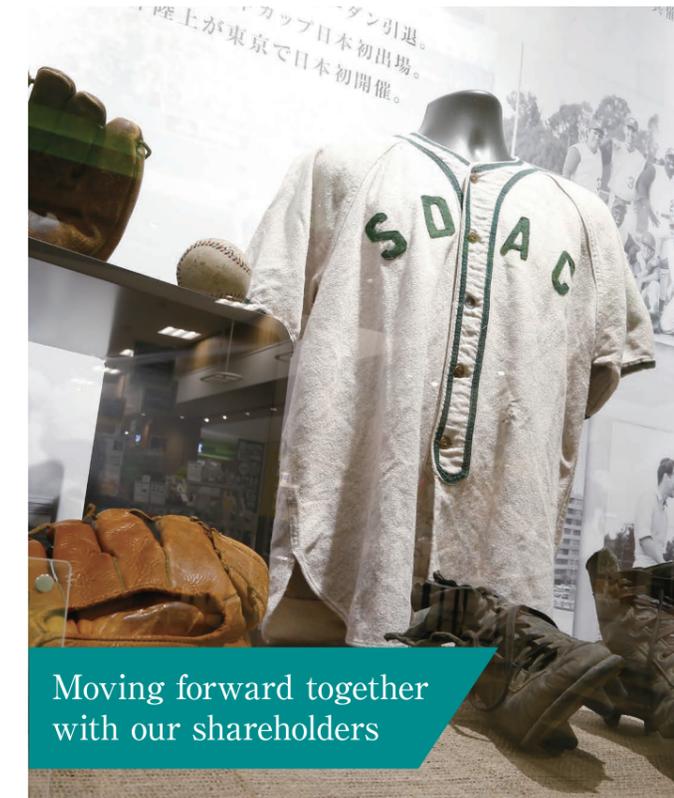
Moving forward together with our employees

Conveying the value of sports

XEBIO Group's main IR activities include holding a semi-annual meeting for institutional investors and the media to present financial results, disclosure of quarterly earnings, and occasionally attending small-group meetings held by securities companies. In addition, we post "short-term financial results," "earnings announcement materials" and a "business report" as well as monthly data for year-on-year change in sales and the press release on our website. We are committed to providing transparency of our company's financial position to our shareholders.

As we hope that our shareholders become customers of XEBIO Group stores, we present those who own a certain number of stocks with the "Shareholder Special Complimentary Ticket." This ticket can be used at each of XEBIO Group stores. We expect that our shareholders will visit our stores, see the merchandise close at hand, deepen their interest in sports, and realize the joy of sports.

With a focus on maintaining a good long-term relationship with shareholders, we aim at ensuring shareholder return in line with our policy of "mid- to long-term shareholder return based on stable dividend payments."



Moving forward together with our shareholders



Moving forward together

Supporting society through sports

"Creating a Sports Nation"

XEBIO Group engages in sports related businesses and believes in the endless possibilities that sports provide. Our mission is to create opportunities for people to enjoy sports as something "close to their hearts" and aim at creating a "vibrant Japan through sports" by actively promoting sporting events and activities.

"We believe that the future is bright for countries where there are many people who are inspired by sports."

We see the infinite possibilities that sports can bring to people's lives. They can comfort people, bring them together, bring fulfillment to their lives as well as help them to grow. XEBIO Group actively participates in regional vitalization and supports activities to foster future generations.

Environmental preservation activities

Increasing measures for waste reduction and recycling

As part of our measures for waste reduction, the group uses recyclable containers when delivering goods from distribution bases to stores and shops, and accelerates reuse of packing materials. When delivering goods which use corrugated cardboard, we have the corrugated cardboard processed and reused by recycling businesses to reduce waste. In addition, each group company has established a recycling distribution system by collaborating each other to promote the reuse of golf clubs. We are striving to contribute to develop an eco-friendly sports environment where sporting goods can be passed down to various owners for many years.

Philanthropic activities

Supporting people through sports

Since the Great East Japan Earthquake of 2011, all the stores and shops of XEBIO Group in the Tohoku region have continued to support the victims of the disaster. Based on the idea of "Sports that Move the Heart," we have created opportunities to enjoy sports and have invited professional athletes to give lectures. (Photo 1)

Applying the lessons of the 2011 disaster, Golf Partner Co., Ltd. held a program titled "Let's support Kumamoto through golf!" to benefit victims of the devastating Kumamoto Earthquake that occurred in April 2016. In collaboration with five golf courses in Kumamoto Prefecture, Golf Partner lent golf clubs free-of-charge to those who were affected by the disaster so that they could play golf. In golf competitions that were held at five golf courses, a total of 504 participants raised 510,420 yen that were donated to the Mayor of Kumamoto to support the affected people of the city. XEBIO Group will continue to provide an environment where our customers are able to enjoy sports. (Photo 2,3)

"Student City" is a hands-on learning program for school children

In Shinagawa City in Tokyo, Iwaki City in Fukushima, and Sendai City in Miyagi, we have a stall that offers 5th and 6th graders hands-on work experience that include learning how to display goods for sale and how to provide service to customers. The goal of this program is to have children grow and mature through feeling a sense of achievement from this experience and learning the mechanisms of the economy. In this way, XEBIO Group can contribute to the community through its people, knowledge, and know-how. (Photo 4)

Lecturing at "Iwaki Shijuku" Global Academy

In this "Iwaki Shijuku" Global Academy project to foster future leaders, two athletes from XEBIO Group have given lectures to approximately 80 junior high school students. (Sponsor: Iwaki Municipal Board of Education) The athletes participated in the program and talked to students about what they had learned from sports, how to set their own goals, and the values that are important to them. The students held a discussion and made a presentation after the lectures, making this an ideal opportunity to think about their future. (Photo 5,6)

Industry-university cooperation; Support of student education and utilization of our management know-how to the community

We cooperate with universities to hold public lectures, provide internship programs, conduct joint research, and sponsor lectures by company employees to students.

Promotion of sports activities

Fostering future generations of "sports lovers" through "XEBIO for KIDS" futsal program

This futsal program provides children with dreams and excitement and helps to create a bright future for the next generation. Since FY 2015, XEBIO has hosted this program together with the Japan Futsal League (F League). In order to give children opportunities to communicate with athletes they admire, Super Sports XEBIO F League offers a program where children march with futsal athletes before a game as "Escort Kids" and a futsal clinic called "Futsal Caravan" where they can meet and learn from former players on the Japan national futsal team. (Photo 7)

Presenting the XEBIO Cup at various sports events and sponsoring events

We hosted or helped to sponsor over 300 sporting events in soccer, basketball, tennis, and golf. Since our stores and shops are rooted in the community, XEBIO Group offers a "place for communication" through sports with participants ranging in age from schoolchildren to adults. The goals for this program are to improve players' techniques, expand the sporting population, and support healthy development of youth. (Photo 8)

"Running United" program for enjoyable running

In order to create opportunities for people to run and to let them know "the joys and pleasures of running," XEBIO Group operates a "Running Community" program which is based in each store and shop. Running can be fun even for people who do not like sports and it is one of the basic movements used in all sports. Creating opportunities for children, families, friends, and colleagues to run together, the "Sports Navigator" offers support for more enjoyable running for people in the local communities. (Photo 9)

"XSPOT," a "sports community space" with the theme of seeing, knowing, and experiencing sports

Sports are a pleasure, joy, and form of communication. This totally new community space called "XSPOT" has put an innovative spin on sports life. With "seeing, knowing, and experiencing sports" as the theme, we offer the latest information, goods, and services and provide you with a place to have fun with friends. While increasing communication between sports lovers, XEBIO Group expects to increase the number of exciting moments in sports. (Photo 10)

Collaboration with the United Sports Foundation

With "One World. One Team" as its message, the United Sports Foundation has supported recovery from the Great East Japan Earthquake of 2011 and is developing the potential of youth for the future and promoting sports culture from a global viewpoint through sporting events. XEBIO Group is aligned with the principles of this foundation and offers its support and cooperation through donation boxes located at our stores and shops to support sporting activities. With "sports" as our foundation, XEBIO Group continues to support activities that include cultural promotion and keeping children healthy in mind and body.

XEBIO Holdings Co., Ltd.
 Trade Name XEBIO Holdings Co., Ltd.
 Head Office 3-7-35 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024 Japan
 Tokyo Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
 Phone 024-938-1111
 URL <http://www.xebio.co.jp/>

XEBIO Co., Ltd.
 Super Sports XEBIO run by XEBIO Co., Ltd. is a general sporting goods mega store that has expanded its business throughout Japan. Super Sports XEBIO has a rich lineup of items for everyone from beginners to advanced players. In addition, XEBIO Co., Ltd. comprehensively supports those who enjoy sports through stores that specialize in sports glasses and sports nutrition.
 Trade Name XEBIO Co., Ltd.
 Utsunomiya Head Office 2-1-8 Hoshigaoka, Utsunomiya, Tochigi 320-0038 Japan
 Tokyo Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
 Head Office 3-7-35 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024 Japan
 Business Sales of sporting goods and equipment, and clothes for women, men, and kids
 Phone 028-624-5134
 URL <http://www.supersports.co.jp/>

Xross Sports Marketing Co., Ltd.
 As a marketing agent for XEBIO Group, Xross Sports Marketing is involved in sales promotion and public relations activities and also plays a leading role in sports promotion and philanthropic activities.
 Trade Name Xross Sports Marketing Co., Ltd.
 Head Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
 Business Marketing, research consulting, event promotion, and property management services
 Phone 03-5282-7655
 URL <http://www.xsmktg.com/>

Victoria Co., Ltd.
 Located mainly in the Greater Tokyo metropolitan area and in specific market areas, Victoria is a comprehensive sports retail chain and is a trendsetter that quickly recognizes and responds to world trends so that each shop of XEBIO Group can reflect these new movements.
 Trade Name Victoria Co., Ltd.
 Head Office Nishikicho Trad Square 12F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
 Business Sales of sporting goods
 Phone 03-5282-7700
 URL <http://www.victoria.co.jp/>

Cross Tech Sports Co., Ltd.
 Cross Tech Sports is in charge of overseas business activities and R&D projects for XEBIO Group and formulates strategies for new ventures.
 Trade Name Cross Tech Sports Co., Ltd.
 Tokyo Head Office Nishikicho Trad Square 2F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
 Head Office 3-7-35 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024 Japan
 Business Overseas business support and R&D services
 Phone 03-3294-7351

GOLF Partner Co., Ltd.
 GOLF Partner runs used golf equipment shops and golf driving ranges as well as operating franchises across Japan and holds the leading share in the second-hand golf equipment retail market.
 Trade Name Golf Partner Co., Ltd.
 Head Office Nishikicho Trad Square 13F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
 Business General golf shop "Golf Partner" franchise chain, "Festival Golf", and golf driving range business
 Phone 03-5217-9700
 URL <http://www.golfpartner.co.jp/>

XEBIO Corporate Co., Ltd.
 XEBIO Corporate undertakes back office operations of XEBIO Group and plays a leading role in improving operational efficiency.
 Trade Name XEBIO Corporate Co., Ltd.
 Head Office 3-7-7 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024 Japan
 Tokyo Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
 Business Group's corporate services contract business
 Phone 024-927-7715
 URL <http://www.xebio-xbs.jp/>

Major Consolidated Subsidiaries

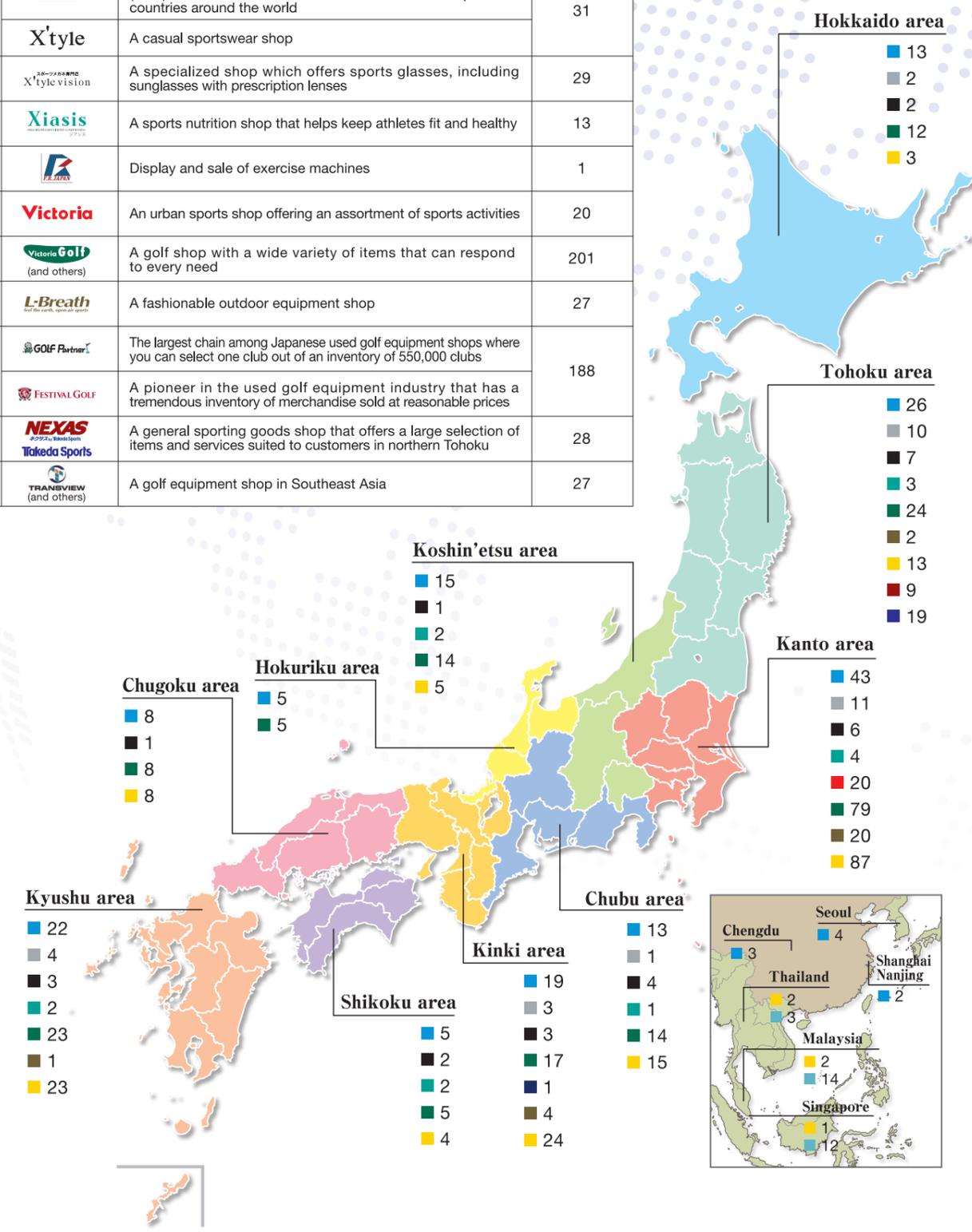
- Service related business**
 - Cross Planet, Inc.**
Sport related services that utilize the Internet, EC site management services, and golf course reservation services
 - XEBIO Card Co., Ltd.**
Credit card business, installment services, <http://www.xebiocard.co.jp/>
- Sports-related business**
 - Tohoku Ice Hockey Club Co., Ltd.**
Professional sports team management <http://www.freeblades.jp/> (Tohoku Free Blades)
- Training and accommodation services**
 - KOKUDOKANKO Co., Ltd.** Training and accommodation services

- Overseas business**
 - XEBIO China Co., Ltd.**
Retail sporting goods sales in Shanghai, China <http://www.xebio.cn/>
 - XEBIO Chengdu Co., Ltd.**
Retail sporting goods sales in Chengdu, China
- Other business**
 - XEBIO Insurance Services Co., Ltd.**
General agent for life and non-life insurance <http://www.xis.co.jp/>
 - XEBIO Navigators Network Co., Ltd.**
Sales contracting, human resources development, and temporary staffing

XEBIO Group has 743 stores (excluding franchises)

As of March 31, 2017

Logos	Description	Number of stores/shops
	A large sporting goods store that offers an extensive selection of sporting goods	178
	A general sporting goods store that offers a diverse selection of products and services to meet the needs of customers in the local community	
	One of the "Specialty store retailer of Private label Apparel" (SPA) brands in UK that has more than 700 shops in 36 countries around the world	31
	A casual sportswear shop	
	A specialized shop which offers sports glasses, including sunglasses with prescription lenses	29
	A sports nutrition shop that helps keep athletes fit and healthy	13
	Display and sale of exercise machines	1
	An urban sports shop offering an assortment of sports activities	20
	A golf shop with a wide variety of items that can respond to every need	201
	A fashionable outdoor equipment shop	27
	The largest chain among Japanese used golf equipment shops where you can select one club out of an inventory of 550,000 clubs	188
	A pioneer in the used golf equipment industry that has a tremendous inventory of merchandise sold at reasonable prices	
	A general sporting goods shop that offers a large selection of items and services suited to customers in northern Tohoku	28
	A golf equipment shop in Southeast Asia	27



Consolidated Financial Statements

(1) Consolidated Balance Sheet

	(million yen)	
	The consolidated fiscal year 2015 (As of March 31, 2016)	The consolidated fiscal year 2016 (As of March 31, 2017)
Assets		
Current assets		
Cash on hand and bank deposits	21,588	25,226
Notes receivable and accounts receivable	18,044	19,071
Operating loans receivable	1,958	1,826
Merchandise inventories	57,656	64,349
Deferred tax assets	1,486	1,587
Other	6,449	6,470
Allowance for doubtful accounts	△424	△623
Total current assets	106,759	117,908
Fixed assets		
Tangible fixed assets		
Buildings and structures	47,460	48,250
Accumulated depreciation	△28,805	△30,796
Buildings and structures, net	18,655	17,453
Land	15,416	15,484
Lease assets	5,270	3,945
Accumulated depreciation	△2,073	△1,391
Lease assets, net	3,197	2,554
Construction in progress	418	124
Other	17,372	18,014
Accumulated depreciation	△13,619	△14,240
Other, net	3,752	3,774
Total tangible fixed assets	41,439	39,391
Intangible fixed assets		
Goodwill	4,223	3,586
Software	2,283	1,626
Other	1,199	1,257
Total intangible fixed assets	7,706	6,470
Investments and other assets		
Investment securities	993	1,058
Long-term loans	126	39
Deferred income taxes	2,334	2,455
Guarantee deposits	4,180	4,025
Security deposits	14,163	14,068
Investment property	4,006	3,726
Accumulated depreciation	△2,066	△1,997
Investment property, net	1,940	1,729
Reserve for employee retirement benefits	142	595
Other	1,173	1,070
Allowance for doubtful accounts	△84	△68
Total investments and other assets	24,969	24,973
Total fixed assets	74,116	70,836
Total assets	180,875	188,744

Note: In the tables above, △ represents decrease

	(million yen)	
	The consolidated fiscal year 2015 (As of March 31, 2016)	The consolidated fiscal year 2016 (As of March 31, 2017)
Liabilities		
Current liabilities		
Notes payable and accounts payable	15,828	17,576
Electronically recorded obligations-operating	24,561	28,853
Short-term debt	295	190
Income taxes payable	2,555	3,046
Reserve for employees' bonuses	1,128	1,224
Reserve for directors' bonuses	15	15
Reserve for point card certificates	1,652	1,593
Other	10,754	11,261
Total current liabilities	56,791	63,761
Non-current liabilities		
Lease obligations	3,090	2,719
Deferred tax liabilities	110	91
Net defined benefit liabilities	697	756
Reserve for directors' retirement benefits	59	59
Asset retirement obligations	3,978	4,139
Other	489	437
Total non-current liabilities	8,426	8,203
Total liabilities	65,218	71,965
Net assets		
Shareholders' equity		
Common stock	15,935	15,935
Capital surplus	16,154	16,149
Earned surplus	87,932	89,353
Treasury stock	△4,994	△5,736
Total shareholders' equity	115,028	115,701
Accumulated other comprehensive income		
Valuation difference on available-for-sale securities	234	280
Foreign currency translation adjustment	549	587
Remeasurements of defined benefit plans	△502	△224
Total accumulated other comprehensive income	282	643
Subscription warrant	336	433
Non controlling interest	10	1
Total net assets	115,657	116,779
Total liabilities and net assets	180,875	188,744

Note: In the tables above, △ represents decrease

(2) Consolidated Statements of Income and Consolidated Statements of Comprehensive Income (Consolidated Statements of Income)

	(million yen)	
	The consolidated fiscal year 2015 (From April 1, 2015 to March 31, 2016)	The consolidated fiscal year 2016 (From April 1, 2016 to March 31, 2017)
Net sales	221,391	223,353
Cost of sales	135,777	134,181
Gross profit	85,614	89,171
Selling, general and administrative expenses	79,444	81,743
Operating profit	6,169	7,428
Non-operating revenues		
Received interest	100	113
Dividends income	19	17
Rent on real estate	936	743
Fiduciary obligation fee	381	359
Other	348	297
Total non-operating revenues	1,786	1,530
Non-operating expenses		
Interest expenses	51	10
Foreign exchange loss	234	315
Rental expenses on real estate	770	697
Fiduciary obligation expenses	406	383
Other	95	53
Total non-operating expenses	1,559	1,459
Ordinary profit	6,396	7,499
Extraordinary income		
Gain on sales of fixed assets	17	293
Gain on sales of investment securities	70	—
Insurance proceeds received	—	372
Total extraordinary income	87	665
Extraordinary loss		
Loss on sales of fixed assets	35	—
Loss on disposal of fixed assets	134	118
Impairment loss of fixed assets	1,577	1,151
Loss on disaster	—	318
Loss on store closing	34	1
Loss on cancellation of leasehold contracts	0	—
Total extraordinary loss	1,782	1,589
Net income before taxes and other adjustments	4,701	6,575
Corporate, inhabitant and enterprise taxes	3,109	3,949
Deferred income taxes	△518	△357
Total income taxes	2,590	3,591
Net profit	2,111	2,983
Net loss attributable to non-controlling interests	△8	△8
Net profit attributable to owners of the parent	2,120	2,991

Note: In the tables above, △ represents decrease

(Consolidated Statements of Comprehensive Income)

	(million yen)	
	The consolidated fiscal year 2015 (From April 1, 2015 to March 31, 2016)	The consolidated fiscal year 2016 (From April 1, 2016 to March 31, 2017)
Net profit	2,111	2,983
Other comprehensive income		
Valuation difference on available-for-sale securities	△87	45
Foreign currency translation adjustment	△228	37
Remeasurements of defined benefit plans	△460	277
Total other comprehensive income	△776	361
Comprehensive income	1,334	3,344
(Breakdown)		
Comprehensive income attributable to owners of the parent	1,343	3,352
Comprehensive income attributable to non-controlling interests	△8	△8

Note: In the tables above, △ represents decrease

(3) Consolidated Statements of Cash Flows

	(million yen)	
	The consolidated fiscal year 2015 (From April 1, 2015 to March 31, 2016)	The consolidated fiscal year 2016 (From April 1, 2016 to March 31, 2017)
Cash flows from operating activities		
Net profit before taxes	4,701	6,575
Depreciation and amortization	5,686	5,521
Impairment loss	1,577	1,151
Amortization of goodwill	618	612
Increase/decrease in allowance for doubtful accounts	△82	182
Increase/decrease in bonus reserve	109	96
Increase/decrease in reserve for point card certificates	16	△59
Increase/decrease in reserve for directors' bonuses	3	—
Increase/decrease in liabilities for retirement reserves	120	58
Increase/decrease in assets for retirement reserves	402	△453
Interest income and dividends income	△120	△130
Interest expenses	51	10
Insurance proceeds received	—	△372
Loss on retirement of fixed assets	134	118
Loss on disaster	—	318
Loss on store closing	34	1
Loss on cancellation of leasehold contracts	0	—
Increase/decrease in trade notes and accounts receivable	△1,428	△1,026
Increase/decrease in operating loans receivable	76	132
Increase/decrease in inventories	△2,914	△6,959
Increase/decrease in trade notes and accounts payable	△1,870	6,040
Increase/decrease in consumption tax payable	△1,142	1,078
Other	△252	343
Sub-total	5,720	13,240
Interest income and dividends income	64	73
Interest expenses paid	△51	△10
Income taxes paid	△1,401	△3,429
Refund of income taxes	806	198
Insurance proceeds received	—	372
Cash flows from operating activities	5,138	10,444

(million yen)

	(million yen)	
	The consolidated fiscal year 2015 (From April 1, 2015 to March 31, 2016)	The consolidated fiscal year 2016 (From April 1, 2016 to March 31, 2017)
Cash flows from investing activities		
Payments for purchases of tangible fixed assets	△4,412	△3,637
Proceeds from sales of tangible fixed assets	5	13
Payments for retirement of tangible fixed assets	△146	△94
Payments for acquisition of intangible fixed assets	△855	△1,047
Payments for acquisition of investment properties	△58	△9
Proceeds from sales of investment properties	798	452
Payments into time deposits	△69	△13
Proceeds from withdrawal of time deposits	—	31
Proceeds from redemption of securities	1,000	—
Payments for lease and guarantee deposits	△1,392	△1,149
Proceeds from collection of lease and guarantee deposits	1,234	1,348
Proceeds from guarantee deposits received	30	20
Repayments of guarantee deposits received	△87	△62
Payments for purchase of shares of subsidiaries resulting in change in scope of consolidation	△0	—
Payments for transfer of business	△147	—
Other	187	57
Cash flows from investing activities	△3,913	△4,090
Cash flows from financing activities		
Net increase/decrease in short-term loans payable	△421	△105
Repayment of long-term loans payable	△11	—
Proceeds from share issuance to non-controlling shareholders	5	—
Repayment of obligations under finance lease	△585	△460
Payments for purchase of treasury stock	△145	△742
Proceeds from sales of treasury stock	0	—
Proceeds from exercise of stock option	163	—
Payments for purchase of shares of subsidiaries resulting in change in scope of consolidation	—	△5
Dividend payments	△1,579	△1,569
Cash flows from financing activities	△2,574	△2,882
Effect of exchange rate change on cash and cash equivalents	△97	185
Increase/decrease in cash and cash equivalents	△1,447	3,656
Cash and cash equivalents at beginning of fiscal year	22,939	21,519
Increase in cash and cash equivalents from newly consolidated subsidiary	28	—
Cash and cash equivalents at end of fiscal year	21,519	25,176

Note: In the tables above, △ represents decrease

Stock Information (as of March 31, 2017)

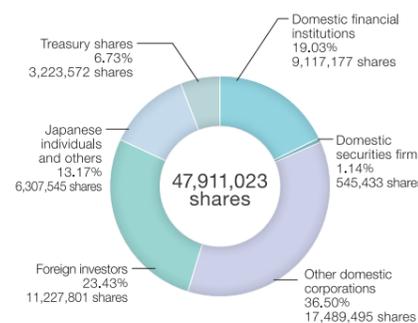
Securities identification code: 8281
Stock exchange listing:
Tokyo Stock Exchange (First Section)

Share information

Total number of authorized shares
.....135,000,000
Total number of issued shares
.....47,911,023
Number of shareholders.....12,622

Name	Number of shares held (shares)	Ratio of shareholding (%)
Sunbig Corp.	8,252,605	18.5
Morohashi Museum of Modern Art	4,500,000	10.1
TTC Co., Ltd.	4,121,466	9.2
Japan Trustee Services Bank, Ltd. (Trust Account)	1,848,300	4.1
BNYMSANV AS AGENT/ CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	1,763,800	3.9
Japan Trustee Services Bank, Ltd. (Trust Account 9)	1,625,800	3.6
Teruko Morohashi	1,392,364	3.1
Tomoyoshi Morohashi	1,173,250	2.6
The Master Trust Bank of Japan, Ltd. (Trust Account)	1,166,300	2.6
Hiroko Morohashi	900,897	2.0

Distribution of shareholders



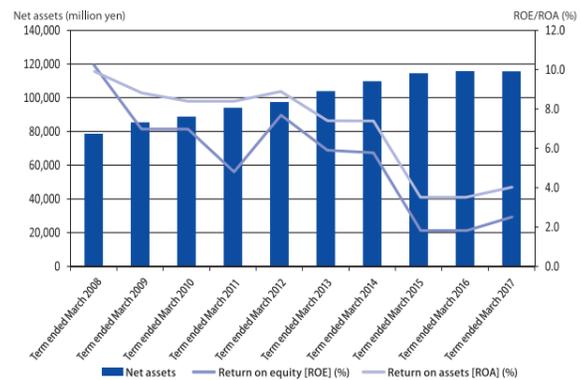
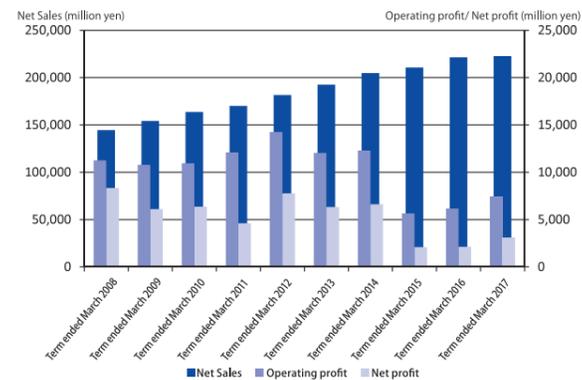
*Since the figures below the second decimal place are omitted, the total percentage does not always add up to 100.

*1. Our company owns 3,223,572 treasury shares but has no voting rights, so is excluded from the above list of major shareholders. In addition, the ratio of shareholding is calculated after deducting the treasury shares.
*2. The number of shares held by the trust companies includes the shares for conducting their activities.

(million yen)

	Term ended March 2008	Term ended March 2009	Term ended March 2010	Term ended March 2011
Business results				
Net sales	144,515	154,159	163,664	170,183
Gross profit	55,135	59,613	62,202	65,731
Operating profit	11,253	10,774	10,943	12,091
Ordinary profit	12,637	11,979	12,048	12,797
Net profit	8,342	6,105	6,355	4,618
Financial position				
Current assets	73,298	67,373	78,989	83,204
Tangible fixed assets	31,195	34,990	34,994	35,319
Intangible fixed assets	1,176	7,694	8,156	8,533
Investments and other assets	27,452	28,605	26,152	25,507
Total assets	133,123	138,663	148,293	152,566
Current liabilities	44,562	45,942	49,074	48,091
Fixed liabilities	3,134	3,925	5,151	7,020
Net assets	85,426	88,795	94,067	97,453
Cash flows				
Cash flows from operating activities	9,602	2,724	12,476	11,910
Cash flows from investing activities	△ 5,097	△ 15,661	△ 600	△ 4,547
Cash flows from financing activities	△ 1,305	△ 2,761	△ 2,798	△ 1,868
Per share information				
Net assets per share (yen)	1,864.17	1,979.57	2,089.80	2,164.11
Net profit per share (yen)	182.11	133.46	141.23	102.60
Dividend per share (yen)	30.00	30.00	30.00	30.00
Financial indicator				
Return on equity [ROE] (%)	10.2	7.0	7.0	4.8
Return on assets [ROA] (%)	9.9	8.8	8.4	8.4
Capital adequacy ratio (%)	64.2	64.0	63.4	63.8
Other data				
Store space at the end of period (tsubo*)	117,749	129,389	135,529	137,715
Ending inventory per tsubo* (thousand yen)	286	312	296	287

*tsubo; 1 tsubo = approx. 3.3 m²



(million yen)

	Term ended March 2012	Term ended March 2013	Term ended March 2014	Term ended March 2015	Term ended March 2016	Term ended March 2017
Net sales	181,577	192,628	204,779	210,672	221,391	223,353
Gross profit	71,730	75,490	81,403	80,850	85,614	89,171
Operating profit	14,257	12,042	12,295	5,654	6,169	7,428
Ordinary profit	14,658	12,471	12,985	6,432	6,396	7,499
Net profit	7,772	6,332	6,618	2,084	2,120	2,991
Current assets	94,909	94,173	106,081	105,153	106,759	117,908
Tangible fixed assets	36,363	38,005	40,439	40,663	41,439	39,391
Intangible fixed assets	8,702	8,132	8,037	8,233	7,706	6,470
Investments and other assets	24,784	27,482	26,825	27,648	24,969	24,973
Total assets	164,759	167,793	181,383	181,698	180,875	188,744
Current liabilities	54,642	50,471	59,198	57,231	56,791	63,761
Fixed liabilities	6,150	7,557	7,606	8,685	8,426	8,203
Net assets	103,966	109,764	114,579	115,781	115,657	116,779
Cash flows from operating activities	14,221	3,092	12,385	7,424	5,138	10,444
Cash flows from investing activities	△ 5,414	△ 9,712	△ 9,552	△ 8,427	△ 3,913	△ 4,090
Cash flows from financing activities	△ 3,694	△ 2,088	△ 1,794	△ 2,293	△ 2,574	△ 2,882
Net assets per share (yen)	2,307.59	2,429.93	2,534.30	2,560.85	2,556.27	2,603.52
Net profit per share (yen)	172.68	140.68	146.91	46.24	46.95	66.89
Dividend per share (yen)	30.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
Return on equity [ROE] (%)	7.7	5.9	5.8	1.8	1.8	2.6
Return on assets [ROA] (%)	8.9	7.4	7.4	3.5	3.5	4.0
Capital adequacy ratio (%)	63.0	65.2	63.0	63.6	63.8	61.6
Store space at the end of period (tsubo)	143,882	152,453	166,168	180,796	188,755	193,193
Ending inventory per tsubo (thousand yen)	295	310	324	303	305	333

Note: In the tables above, △ represents decrease

